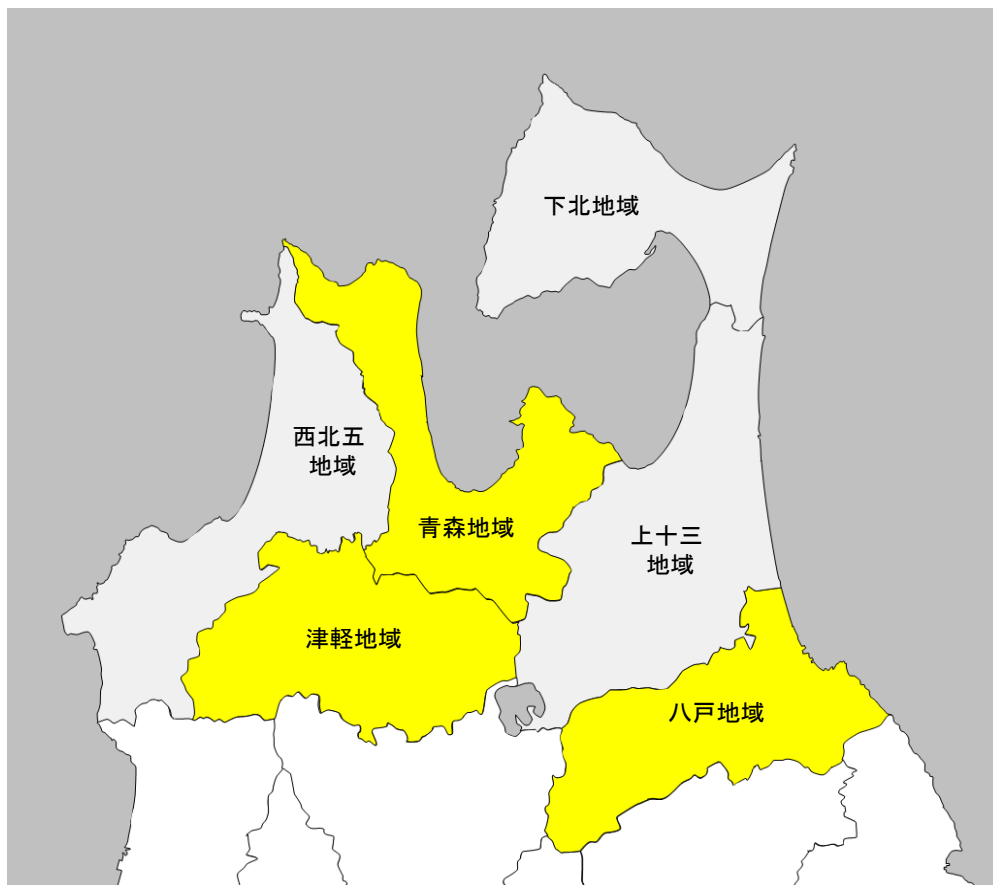


2. 青森県

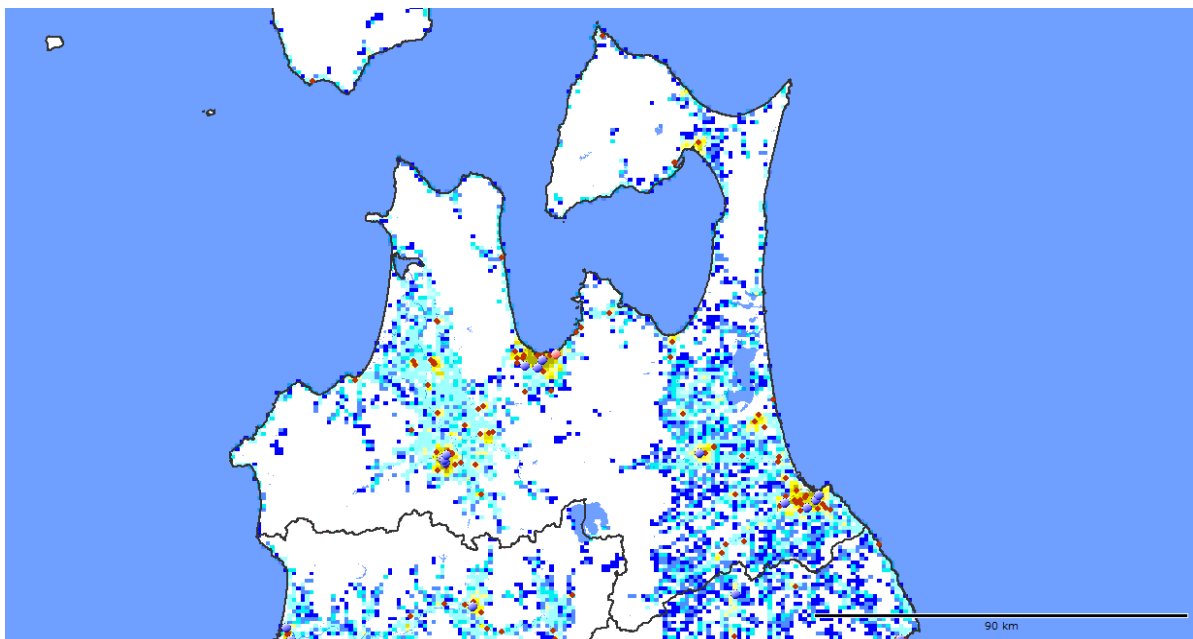


目次

青森県	2 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	2 - 8
1. 津軽地域医療圏	2 - 20
2. 八戸地域医療圏	2 - 25
3. 青森地域医療圏	2 - 30
4. 西北五地域医療圏	2 - 35
5. 上十三地域医療圏	2 - 40
6. 下北地域医療圏	2 - 45

2. 青森県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(青森県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 青森県は、総人口約1,308千人(2015年)、面積9,646km²、人口密度は136人/km²である。

***人口の将来予測：** 青森県の総人口は2025年に1,157千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に909千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の201千人が、2025年にかけて241千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には250千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 青森県の一人当たり医療費(国保)は346千円(偏差値48)、介護給付費は294千円(偏差値62)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 青森県の一人当たり急性期医療密度指数は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数は0.79で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が45(病院医師数46、診療所医師数43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 青森県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19,582人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が11,761床(偏差値48)、高齢者住宅等が7,821床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、15,731人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム37、軽費ホーム46、グループホーム71、サ高住48である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、4,479人(75歳以上1,000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

青森県の総人口は、2005年1,436,657人が、2015年に1,308,265人と9%減少し、2025年の人口が1,157,332人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

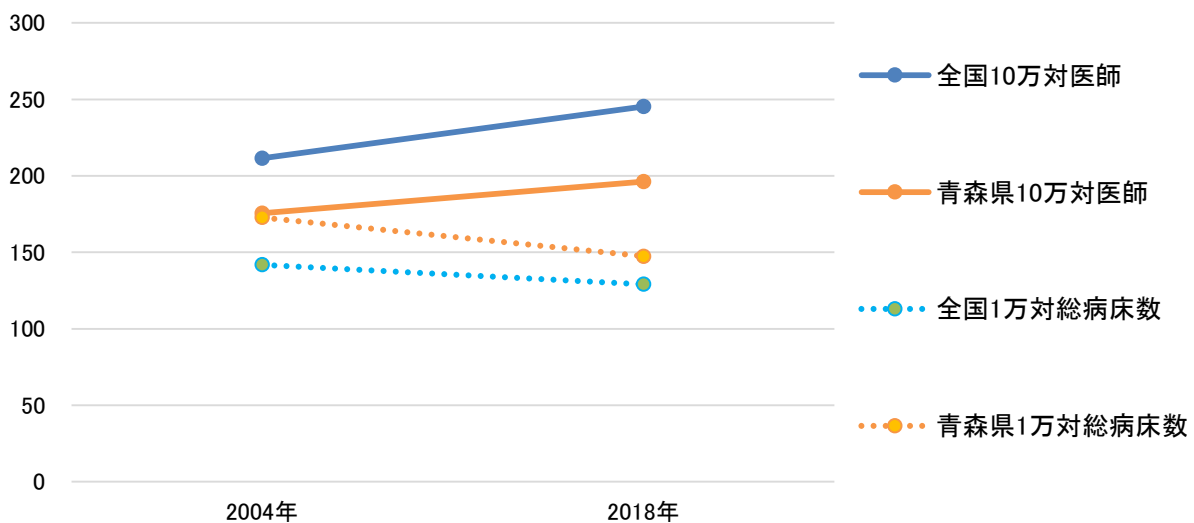
2004年の病院数が108(人口10万人当たり7.5病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2018年に95(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、14年間で13病院が減少した。

2004年の診療所数が976(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2018年に885(人口10万人当たり68診療所(全国平均80)偏差値43)と、91診療所が減少した。

2004年の総病床数が24,822床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2018年に19,284床(人口1万人当たり147(全国平均129)偏差値53)と、5,538床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,522人(人口10万人当たり176人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に2,568人(人口10万人当たり196人(全国平均245人)偏差値45)と、46人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

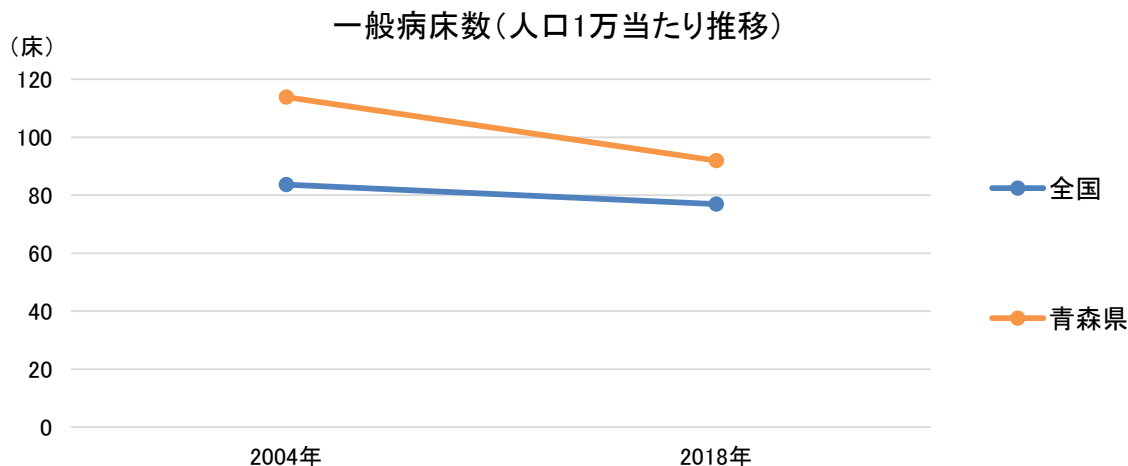
人口当たり医師数・総病床数の推移



2.青森県(2019年版)

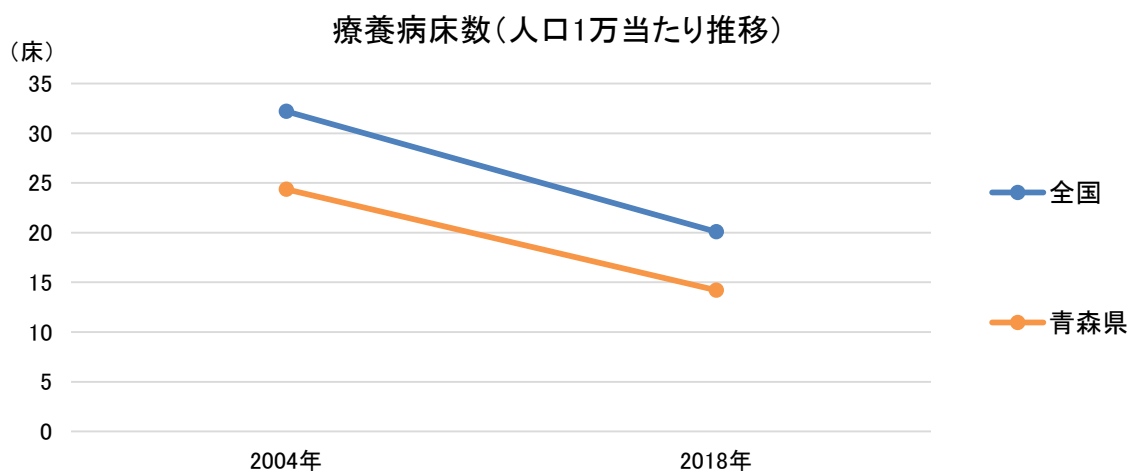
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が16,357床(人口1万人当たり114(全国平均84)偏差値61)であったが、2018年に12,022床(人口1万人当たり92(全国平均77)偏差値56)と、4,335床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



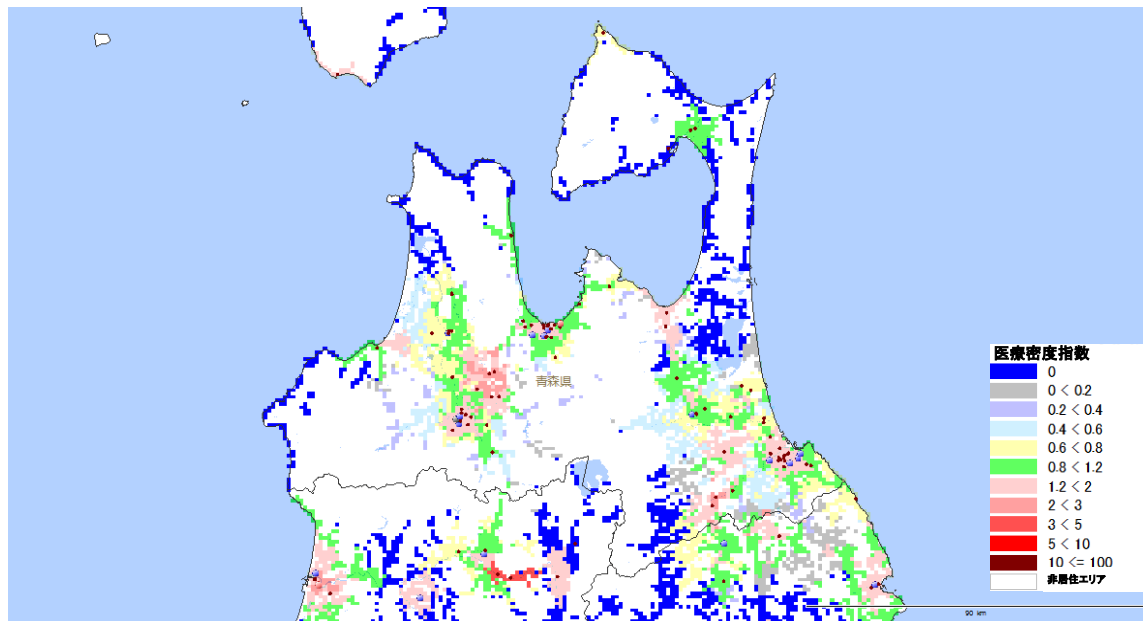
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,553床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2018年に2,858床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値45)と、695床の減少、率にして20%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



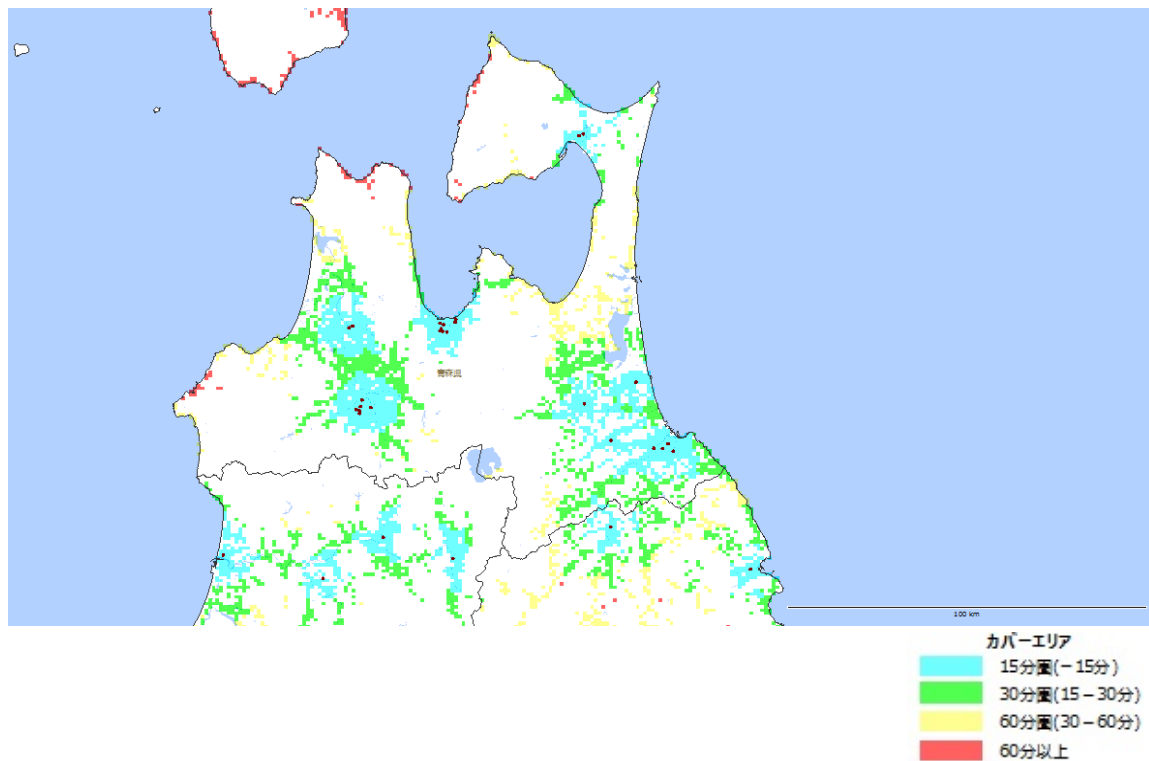
(青森県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表2-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 2-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
青森県	1,308	31位	9,646	8位	135.6		30%	1,157	909	201	241	250	-12%	-21%	20%	4%
津軽地域	292	22%	1,598	17%	182.6	地方都市型	30%	258	205	46	52	53	-12%	-21%	13%	2%
八戸地域	323	25%	1,347	14%	240.2	地方都市型	29%	294	239	46	60	65	-9%	-19%	30%	8%
青森地域	311	24%	1,478	15%	210.2	地方都市型	29%	275	214	45	56	59	-12%	-22%	24%	5%
西北五地域	132	10%	1,752	18%	75.1	過疎地域型	35%	107	75	25	26	25	-19%	-30%	4%	-4%
上十三地域	176	13%	2,054	21%	85.8	過疎地域型	30%	158	126	27	33	35	-10%	-20%	22%	6%
下北地域	74	6%	1,416	15%	52.6	過疎地域型	30%	65	51	11	14	14	-12%	-22%	27%	0%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 2-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
青森県	1.06	0.79	17,016	19,295	-13.4%
津軽地域	1.32	0.66	4,054	4,206	-3.7%
八戸地域	1.16	0.55	3,457	4,761	-37.7%
青森地域	1.22	1.04	3,469	4,418	-27.3%
西北五地域	0.62	1.48	2,630	2,135	18.8%
上十三地域	0.74	0.42	2,447	2,648	-8.2%
下北地域	0.56	0.91	959	1,129	-17.7%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 2-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
青森県	346	48	0.953	131	48	0.926	194	51	0.991	294	62
津軽地域	341	47	0.954	130	47	0.931	191	49	0.993	295	62
八戸地域	357	50	0.961	137	50	0.947	196	52	0.977	284	59
青森地域	363	52	0.984	138	50	0.956	204	57	1.025	290	60
西北五地域	315	41	0.894	116	43	0.836	181	44	0.954	299	63
上十三地域	344	47	0.942	129	47	0.903	194	51	0.986	316	68
下北地域	336	46	0.916	127	46	0.885	192	50	0.970	294	61
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 2-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
青森県	817	41	0.853	378	41	0.789	418	47	0.945
津軽地域	832	42	0.865	397	43	0.824	416	47	0.933
八戸地域	837	42	0.870	396	43	0.827	419	48	0.934
青森地域	915	49	0.950	432	47	0.901	461	58	1.025
西北五地域	691	30	0.724	293	33	0.613	382	38	0.864
上十三地域	744	35	0.776	334	37	0.693	390	40	0.880
下北地域	735	34	0.769	316	35	0.660	405	44	0.912
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 2-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
青森県	95	1.1%	7.3	52	885	0.9%	68	43
津軽地域	22	23%	7.5	52	223	25%	76	48
八戸地域	27	28%	8.3	54	202	23%	62	41
青森地域	22	23%	7.1	51	238	27%	77	48
西北五地域	8	8%	6.1	49	83	9%	63	41
上十三地域	12	13%	6.8	51	95	11%	54	36
下北地域	4	4%	5.4	47	44	5%	59	39
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 2-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
青森県	885	0.9%	68	43	743	0.8%	57	40	142	2.0%	10.9	59
津軽地域	223	25%	76	48	177	24%	61	42	46	32%	15.8	68
八戸地域	202	23%	62	41	175	24%	54	39	27	19%	8.3	55
青森地域	238	27%	77	48	201	27%	65	45	37	26%	11.9	61
西北五地域	83	9%	63	41	76	10%	58	41	7	5%	5.3	50
上十三地域	95	11%	54	36	77	10%	44	33	18	13%	10.2	58
下北地域	44	5%	59	39	37	5%	50	37	7	5%	9.4	57
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 2-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
青森県	17,255	1.1%	1,319	52	2,029	2.1%	155	59	19,284	1.2%	1,474	53
津軽地域	4,329	25%	1,484	56	676	33%	232	67	5,005	26%	1,715	58
八戸地域	4,572	26%	1,414	54	393	19%	122	55	4,965	26%	1,535	55
青森地域	4,500	26%	1,449	55	554	27%	178	61	5,054	26%	1,627	56
西北五地域	1,369	8%	1,040	46	90	4%	68	49	1,459	8%	1,108	47
上十三地域	1,853	11%	1,051	47	211	10%	120	55	2,064	11%	1,171	48
下北地域	632	4%	849	42	105	5%	141	57	737	4%	990	44
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 2-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
青森県	10,112	1.1%	773	53	2,739	0.9%	209	48	4,342	1.3%	332	53
津軽地域	2,832	28%	971	62	597	22%	205	48	894	21%	306	52
八戸地域	2,636	26%	815	55	543	20%	168	46	1,387	32%	429	58
青森地域	2,582	26%	831	56	716	26%	230	49	1,164	27%	375	56
西北五地域	610	6%	463	39	591	22%	449	60	164	4%	125	44
上十三地域	998	10%	566	44	172	6%	98	42	679	16%	385	56
下北地域	454	4%	610	46	120	4%	161	45	54	1%	73	41
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 2-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟				地域包括ケア病棟			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
青森県	721	0.9%	55	48	580	0.7%	44	47
津軽地域	271	38%	93	56	61	11%	21	44
八戸地域	164	23%	51	47	201	35%	62	50
青森地域	286	40%	92	56	117	20%	38	46
西北五地域	0	0%	0	36	71	12%	54	49
上十三地域	0	0%	0	36	130	22%	74	52
下北地域	0	0%	0	36	0	0%	0	41
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 2-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
青森県	7,900	6,974	350	8,965	2,938	2,268	70.4%	60	13.4%	54
津軽地域	1,603	1,524	32	2,629	1,260	516	54.7%	54	5.8%	50
八戸地域	2,193	2,004	79	2,273	636	414	75.9%	62	16.0%	55
青森地域	1,924	1,613	48	2,401	809	658	66.6%	58	6.8%	51
西北五地域	638	550	40	719	60	539	90.2%	67	6.9%	51
上十三地域	910	825	31	943	173	141	82.7%	64	18.0%	56
下北地域	632	458	120	0	0	0	100.0%	71	100.0%	92
出典	地方厚生局指定一覽令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 2-11 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
青森県	17,328	0.8%	1,325	45	9,768	1.1%	747	51
津軽地域	5,508	32%	1,888	52	2,112	22%	724	50
八戸地域	5,172	30%	1,599	48	3,060	31%	946	58
青森地域	4,164	24%	1,340	45	2,544	26%	819	54
西北五地域	444	3%	337	33	756	8%	574	44
上十三地域	1,692	10%	960	40	780	8%	442	39
下北地域	348	2%	467	34	516	5%	693	49
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 2-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
青森県	2,568	0.8%	196	45	1,711	0.8%	131	46	857	0.8%	66	43
津軽地域	862	34%	295	55	652	38%	223	58	210	25%	72	46
八戸地域	566	22%	175	42	351	21%	109	42	215	25%	66	44
青森地域	664	26%	214	47	421	25%	136	46	243	28%	78	49
西北五地域	164	6%	125	37	97	6%	74	38	67	8%	51	37
上十三地域	214	8%	121	36	123	7%	70	37	91	11%	52	37
下北地域	98	4%	132	38	67	4%	90	40	31	4%	42	33
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 2-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
青森県	158	0.5%	12.1	41	107	0.8%	8.2	44	85	0.8%	6.5	44
津軽地域	71	45%	24.3	51	37	35%	12.7	53	31	36%	10.6	54
八戸地域	20	13%	6.2	35	21	20%	6.5	41	19	22%	5.9	43
青森地域	40	25%	12.9	41	30	28%	9.7	47	16	19%	5.2	41
西北五地域	11	7%	8.4	37	6	6%	4.6	37	6	7%	4.6	39
上十三地域	10	6%	5.7	35	8	7%	4.5	37	7	8%	4.0	38
下北地域	6	4%	8.1	37	5	5%	6.7	41	6	7%	8.1	48
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 2-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
青森県	55	1.0%	4.2	49	70	0.7%	5.4	42	60	0.8%	4.6	45
津軽地域	22	40%	7.5	64	23	33%	7.9	50	19	32%	6.5	52
八戸地域	12	22%	3.7	46	19	27%	5.9	44	17	28%	5.3	47
青森地域	14	25%	4.5	50	17	24%	5.5	43	15	25%	4.8	46
西北五地域	2	4%	1.5	37	6	9%	4.6	40	4	7%	3.0	39
上十三地域	4	7%	2.3	40	3	4%	1.7	31	4	7%	2.3	36
下北地域	1	2%	1.3	36	2	3%	2.7	34	1	2%	1.3	33
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 2-15 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
青森県	80	0.8%	6.1	46	194	0.9%	14.8	47	157	0.9%	12.0	47
津軽地域	22	28%	7.5	50	70	36%	24.0	60	50	32%	17.1	58
八戸地域	20	25%	6.2	46	39	20%	12.1	43	41	26%	12.7	49
青森地域	21	26%	6.8	48	44	23%	14.2	46	40	25%	12.9	49
西北五地域	4	5%	3.0	38	15	8%	11.4	42	9	6%	6.8	36
上十三地域	13	16%	7.4	49	19	10%	10.8	41	14	9%	7.9	39
下北地域	0	0%	0	29	7	4%	9.4	39	3	2%	4.0	30
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 2-16 専門医数 (泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
青森県	70	1.1%	5.4	52	53	0.8%	4.1	44	40	0.7%	3.1	45
津軽地域	19	27%	6.5	57	15	28%	5.1	49	21	53%	7.2	58
八戸地域	16	23%	4.9	50	13	25%	4.0	44	5	13%	1.5	40
青森地域	18	26%	5.8	54	19	36%	6.1	53	10	25%	3.2	45
西北五地域	4	6%	3.0	42	3	6%	2.3	37	1	3%	0.8	38
上十三地域	8	11%	4.5	48	2	4%	1.1	32	2	5%	1.1	39
下北地域	5	7%	6.7	58	1	2%	1.3	33	1	3%	1.3	39
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 2-17 専門医数 (麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
青森県	62	0.8%	4.7	47	15	0.9%	1.1	48	22	0.5%	1.7	42
津軽地域	28	45%	9.6	61	6	40%	2.1	58	7	32%	2.4	45
八戸地域	12	19%	3.7	44	4	27%	1.2	49	6	27%	1.9	43
青森地域	16	26%	5.2	48	3	20%	1.0	46	4	18%	1.3	40
西北五地域	1	2%	0.8	35	1	7%	0.8	44	1	5%	0.8	38
上十三地域	3	5%	1.7	38	0	0%	0	37	2	9%	1.1	39
下北地域	2	3%	2.7	41	1	7%	1.3	50	2	9%	2.7	47
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 2-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
青森県	13	0.6%	1.0	44	19	0.7%	1.5	45
津軽地域	7	54%	2.4	55	8	42%	2.7	54
八戸地域	0	0%	0	36	5	26%	1.5	46
青森地域	6	46%	1.9	51	2	11%	0.6	40
西北五地域	0	0%	0	36	2	11%	1.5	46
上十三地域	0	0%	0	36	2	11%	1.1	43
下北地域	0	0%	0	36	0	0%	0	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 2-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
青森県	13,190	1.2%	1,008	54	9,917	1.1%	758	51	3,272	1.4%	250	60
津軽地域	3,174	24%	1,088	56	2,410	24%	826	54	763	23%	262	62
八戸地域	3,507	27%	1,084	56	2,646	27%	818	54	861	26%	266	62
青森地域	3,526	27%	1,135	58	2,655	27%	855	55	871	27%	280	64
西北五地域	933	7%	709	43	699	7%	531	42	234	7%	178	50
上十三地域	1,491	11%	846	48	1,090	11%	618	46	400	12%	227	57
下北地域	560	4%	752	45	417	4%	560	43	143	4%	192	52
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 2-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数				薬剤師数			
	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
青森県	1,239	0.9%	95	47	2,306	0.7%	176	43
津軽地域	308	25%	106	49	570	25%	195	45
八戸地域	339	27%	105	49	528	23%	163	42
青森地域	404	33%	130	54	737	32%	237	49
西北五地域	69	6%	52	40	167	7%	127	39
上十三地域	74	6%	42	38	215	9%	122	38
下北地域	45	4%	60	41	89	4%	120	38
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 2-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
青森県	84	0.6%	0.4	39	10	0.7%	0.0	44	124	1.1%	0.6	46
津軽地域	28	33%	0.6	44	2	20%	0.0	43	29	23%	0.6	46
八戸地域	12	14%	0.3	36	2	20%	0.0	43	39	31%	0.8	56
青森地域	29	35%	0.6	45	5	50%	0.1	53	22	18%	0.5	40
西北五地域	4	5%	0.2	34	0	0%	0	37	11	9%	0.4	38
上十三地域	9	11%	0.3	37	0	0%	0	37	17	14%	0.6	47
下北地域	2	2%	0.2	34	1	10%	0.1	50	6	5%	0.5	42
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 2-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
青森県	19,582	1.1%	97	45	11,761	1.2%	59	48	7,821	1.1%	39	47
津軽地域	4,859	25%	105	50	2,752	23%	60	48	2,107	27%	46	51
八戸地域	3,997	20%	86	38	2,475	21%	53	43	1,522	19%	33	43
青森地域	3,959	20%	89	40	2,305	20%	52	42	1,654	21%	37	46
西北五地域	2,766	14%	110	53	1,730	15%	69	56	1,036	13%	41	48
上十三地域	2,941	15%	109	52	1,720	15%	64	52	1,221	16%	45	51
下北地域	1,060	5%	93	42	779	7%	68	55	281	4%	25	38
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 2-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
青森県	5,135	1.4%	26	55	5,808	1.0%	29	43	818	1.6%	4.1	52
津軽地域	1,407	27%	30	63	1,311	23%	28	43	34	4%	0.7	44
八戸地域	1,080	21%	23	51	1,129	19%	24	38	266	33%	5.7	57
青森地域	1,040	20%	23	51	1,142	20%	26	40	123	15%	2.8	49
西北五地域	580	11%	23	51	795	14%	32	46	355	43%	14.1	79
上十三地域	769	15%	28	60	951	16%	35	49	0	0%	0	42
下北地域	259	5%	23	50	480	8%	42	56	40	5%	3.5	51
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
青森県	135	0.1%	0.7	37	119	0.5%	0.6	46	4,899	2.4%	24.4	71
津軽地域	0	0%	0	36	30	25%	0.6	46	1,272	26%	27.6	76
八戸地域	81	60%	1.7	38	0	0%	0	43	869	18%	18.7	61
青森地域	0	0%	0	36	59	50%	1.3	49	1,105	23%	24.7	71
西北五地域	0	0%	0	36	30	25%	1.2	49	870	18%	34.5	89
上十三地域	54	40%	2.0	38	0	0%	0	43	603	12%	22.3	67
下北地域	0	0%	0	36	0	0%	0	43	180	4%	15.7	56
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
青森県	2,668	1.1%	13.3	48	102	0.4%	0.5	44	2,566	1.2%	12.8	49
津軽地域	805	30%	17.4	53	0	0%	0	42	805	31%	17.4	56
八戸地域	572	21%	12.3	46	32	31%	0.7	45	540	21%	11.6	47
青森地域	490	18%	11.0	44	0	0%	0	42	490	19%	11.0	46
西北五地域	136	5%	5.4	37	0	0%	0	42	136	5%	5.4	39
上十三地域	564	21%	20.9	58	70	69%	2.6	55	494	19%	18.3	57
下北地域	101	4%	8.8	42	0	0%	0	42	101	4%	8.8	43
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 2-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
青森県	2,005	1.1%	10.0	47	1,359	1.1%	6.8	47	646	1.2%	3.2	48
津軽地域	431	21%	9.3	44	282	21%	6.1	44	148	23%	3.2	48
八戸地域	542	27%	11.7	54	340	25%	7.3	50	202	31%	4.4	58
青森地域	386	19%	8.6	41	266	20%	5.9	43	120	19%	2.7	44
西北五地域	243	12%	9.7	45	203	15%	8.1	54	40	6%	1.6	34
上十三地域	288	14%	10.7	50	177	13%	6.6	46	110	17%	4.1	56
下北地域	115	6%	10.0	47	90	7%	7.9	53	25	4%	2.1	39
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
青森県	20,210	1.3%	101	57	15,731	1.2%	78	49	4,479	2.0%	22.3	67
津軽地域	4,941	24%	107	63	3,670	23%	79	50	1,271	28%	27.5	77
八戸地域	4,440	22%	96	53	3,568	23%	77	48	872	19%	18.8	60
青森地域	4,637	23%	104	60	3,379	21%	76	47	1,258	28%	28.2	78
西北五地域	2,531	13%	100	57	2,129	14%	84	55	402	9%	16.0	55
上十三地域	2,692	13%	100	56	2,166	14%	80	51	526	12%	19.5	61
下北地域	970	5%	85	43	820	5%	72	43	150	3%	13.1	49
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
青森県	9,061	0.7%	45	41	4,931	0.9%	25	43	19,386	1.7%	96	62
津軽地域	2,213	24%	48	42	798	16%	17	38	4,786	25%	104	65
八戸地域	2,345	26%	50	43	1,527	31%	33	49	3,871	20%	83	56
青森地域	2,791	31%	62	46	1,181	24%	26	45	5,533	29%	124	73
西北五地域	418	5%	17	33	165	3%	7	31	1,683	9%	67	49
上十三地域	1,015	11%	38	39	1,075	22%	40	54	2,213	11%	82	56
下北地域	279	3%	24	36	185	4%	16	37	1,300	7%	114	69
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 2-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
青森県		1,436,657	1,308,265	-9%	1,157,332	-19%	5%	-1%	4%
津軽地域	地方都市型	317,610	291,789	-8%	258,466	-19%	4%	-3%	1%
八戸地域	地方都市型	348,205	323,447	-7%	293,695	-16%	8%	3%	11%
青森地域	地方都市型	340,427	310,640	-9%	274,619	-19%	6%	0%	6%
西北五地域	過疎地域型	155,246	131,631	-15%	107,474	-31%	-2%	-8%	-10%
上十三地域	過疎地域型	191,417	176,307	-8%	157,599	-18%	6%	1%	7%
下北地域	過疎地域型	83,752	74,451	-11%	65,479	-22%	1%	-1%	0%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

2.青森県(2019年版)

資_図表 2-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
青森県	108	7.5	51	95	7.3	52	-13	-12%
津軽地域	27	8.5	54	22	7.5	52	-5	-19%
八戸地域	27	7.8	52	27	8.3	54	0	0%
青森地域	25	7.3	51	22	7.1	51	-3	-12%
西北五地域	10	6.4	48	8	6.1	49	-2	-20%
上十三地域	13	6.8	49	12	6.8	51	-1	-8%
下北地域	6	7.2	50	4	5.4	47	-2	-33%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 2-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
青森県	976	68	46	885	68	43	-91	-9%
津軽地域	260	82	53	223	76	48	-37	-14%
八戸地域	211	61	42	202	62	41	-9	-4%
青森地域	275	81	52	238	77	48	-37	-13%
西北五地域	81	52	38	83	63	41	2	2%
上十三地域	103	54	39	95	54	36	-8	-8%
下北地域	46	55	40	44	59	39	-2	-4%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 2-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
青森県	2,522	176	46	2,568	196	45	46	2%
津軽地域	869	274	57	862	295	55	-7	-1%
八戸地域	557	160	44	566	175	42	9	2%
青森地域	608	179	46	664	214	47	56	9%
西北五地域	160	103	37	164	125	37	4	3%
上十三地域	224	117	39	214	121	36	-10	-4%
下北地域	104	124	40	98	132	38	-6	-6%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 2-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
青森県	24,822	173	56	19,284	147	53	-5,538	-22%
津軽地域	6,263	197	60	5,005	172	58	-1,258	-20%
八戸地域	5,483	157	53	4,965	154	55	-518	-9%
青森地域	6,884	202	61	5,054	163	56	-1,830	-27%
西北五地域	2,299	148	51	1,459	111	47	-840	-37%
上十三地域	2,911	152	52	2,064	117	48	-847	-29%
下北地域	982	117	46	737	99	44	-245	-25%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 2-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
青森県	16,357	114	61	12,022	92	56	-4,335	-27%
津軽地域	4,425	139	70	3,455	118	66	-970	-22%
八戸地域	3,661	105	58	3,029	94	56	-632	-17%
青森地域	4,447	131	67	3,085	99	59	-1,362	-31%
西北五地域	1,315	85	50	700	53	41	-615	-47%
上十三地域	1,793	94	54	1,194	68	46	-599	-33%
下北地域	716	85	51	559	75	49	-157	-22%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 2-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

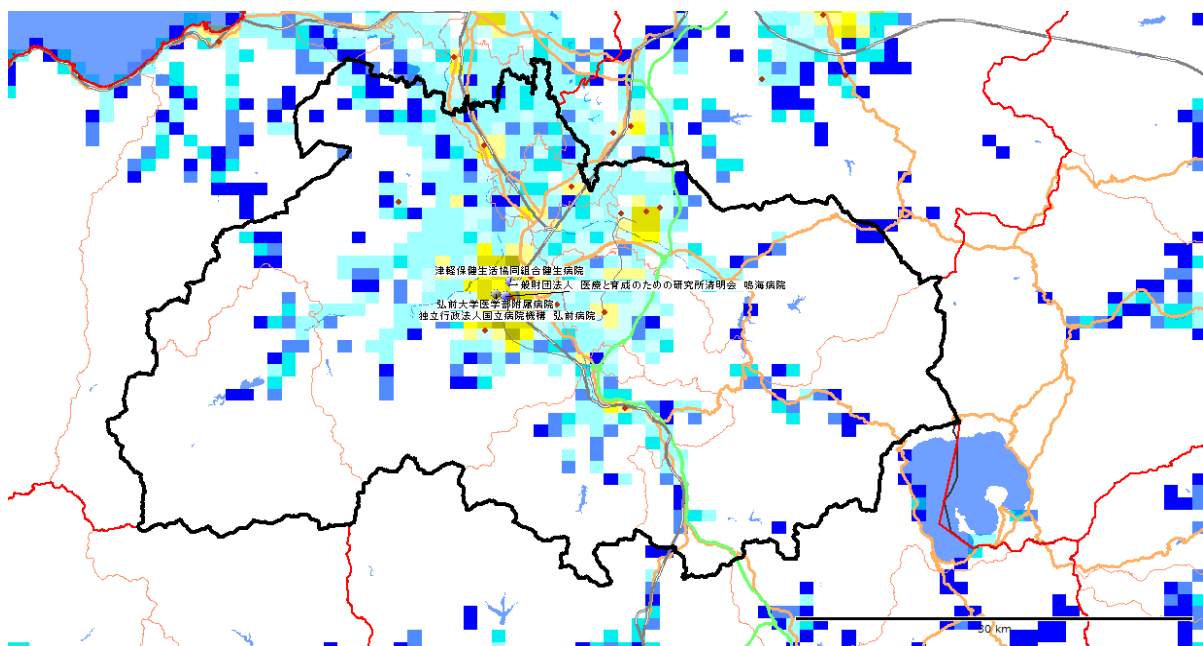
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
青森県	3,553	24	46	2,858	14	45	-695	-20%
津軽地域	875	25	46	650	14	45	-225	-26%
八戸地域	618	19	43	543	12	42	-75	-12%
青森地域	1,000	32	50	767	17	47	-233	-23%
西北五地域	668	34	51	591	23	53	-77	-12%
上十三地域	236	12	39	187	7	38	-49	-21%
下北地域	156	17	42	120	10	41	-36	-23%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

2-1. つがる 津軽地域医療圏

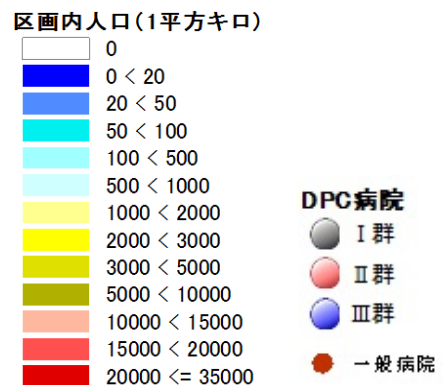
構成市区町村 [弘前市](#) [黒石市](#) [平川市](#) [西目屋村](#)
[藤崎町](#) [大鰐町](#) [田舎館村](#) [板柳町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(津軽地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 津軽地域(弘前市)は、総人口約292千人(2015年)、面積1,598km²、人口密度は183人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 津軽地域の総人口は2025年に258千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に205千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の46千人が、2025年にかけて52千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には53千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 津軽地域の一人当たり医療費(国保)は341千円(偏差値47)、介護給付費は295千円(偏差値62)であり、医療費はやや低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 津軽地域の一人当たり急性期医療密度指数は1.32、一人当たり慢性期医療密度指数は0.66で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が55(病院医師数58、診療所医師数46)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は56と多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。津軽地域には、年間全身麻酔件数が2000例以上の弘前大学医学部附属病院(I群・救命)、500例以上のNH0弘前病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値56と多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 津軽地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,859人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,752床(偏差値48)、高齢者住宅等が2,107床(偏差値51)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,670人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設44、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホーム46、グループホーム76、サ高住53である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,271人(75歳以上1,000人当たりの偏差値77)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(津軽地域医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

津軽地域医療圏の総人口は、2005年317,610人が、2015年に291,789人と8%減少し、2025年の人口が258,466人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

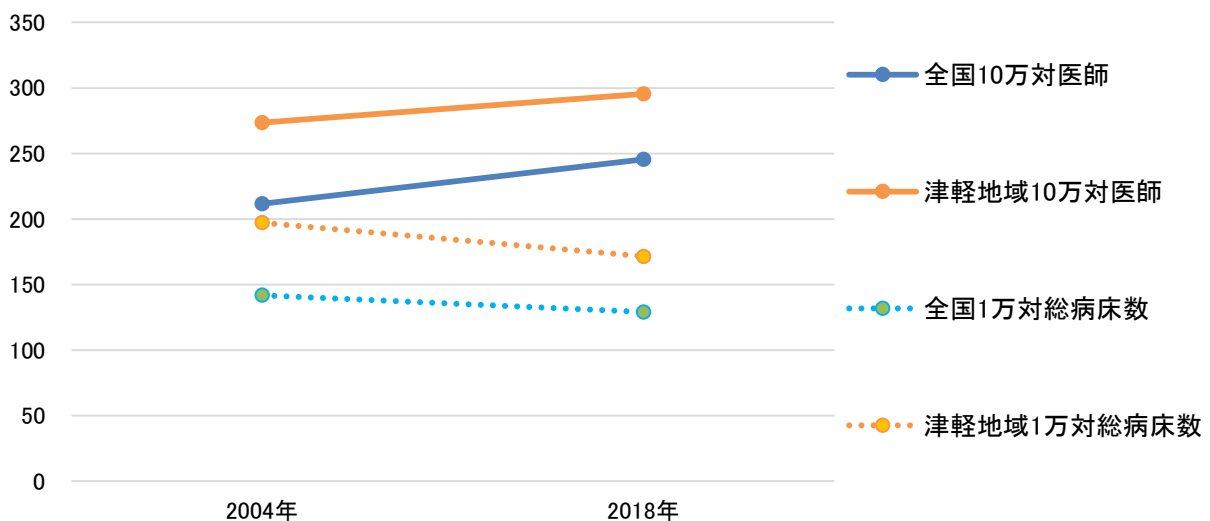
2004年の病院数が27(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2018年に22(人口10万人当たり7.5病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、14年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が260(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2018年に223(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、37診療所が減少した。

2004年の総病床数が6,263床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2018年に5,005床(人口1万人当たり172(全国平均129)偏差値58)と、1,258床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

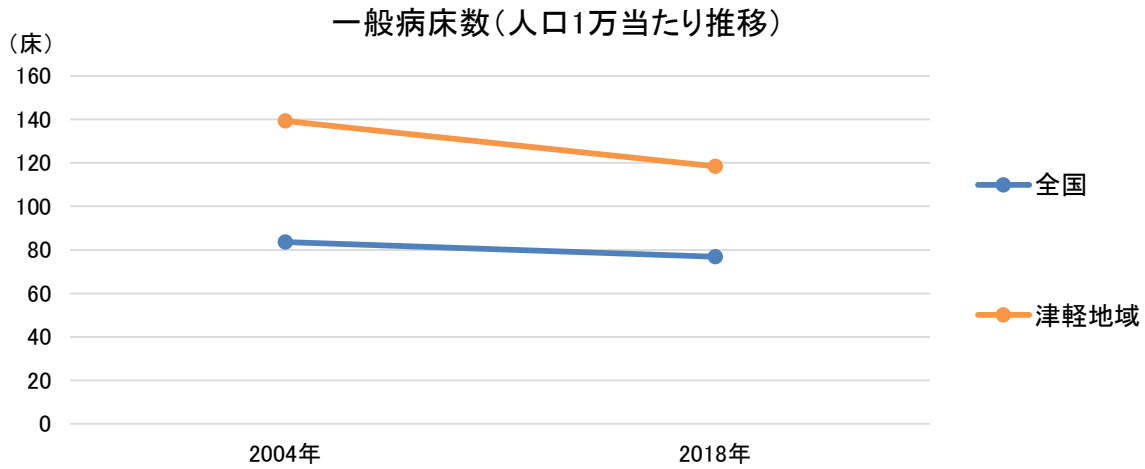
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が869人(人口10万人当たり274人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2018年に862人(人口10万人当たり295人(全国平均245人)偏差値55)と、7人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



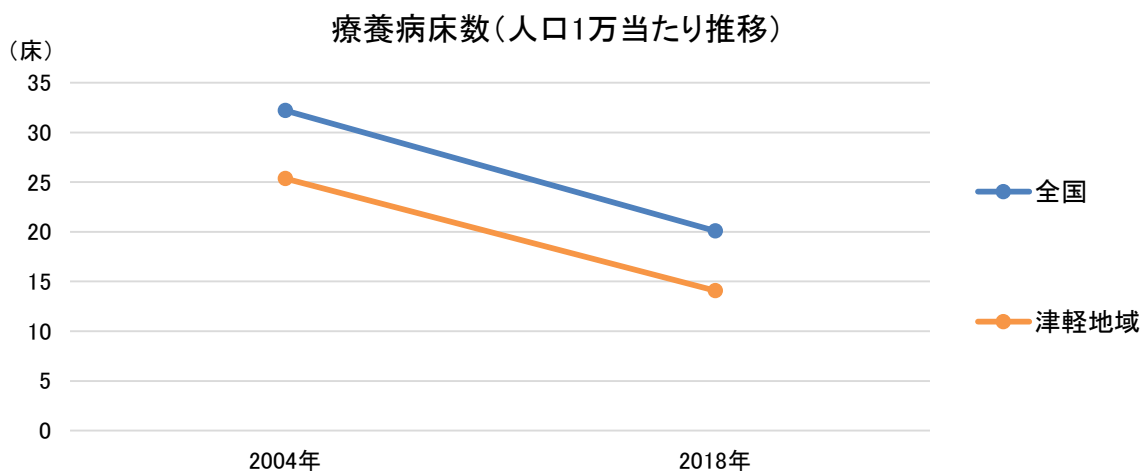
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,425床(人口1万人当たり139(全国平均84)偏差値70)であったが、2018年に3,455床(人口1万人当たり118(全国平均77)偏差値66)と、970床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



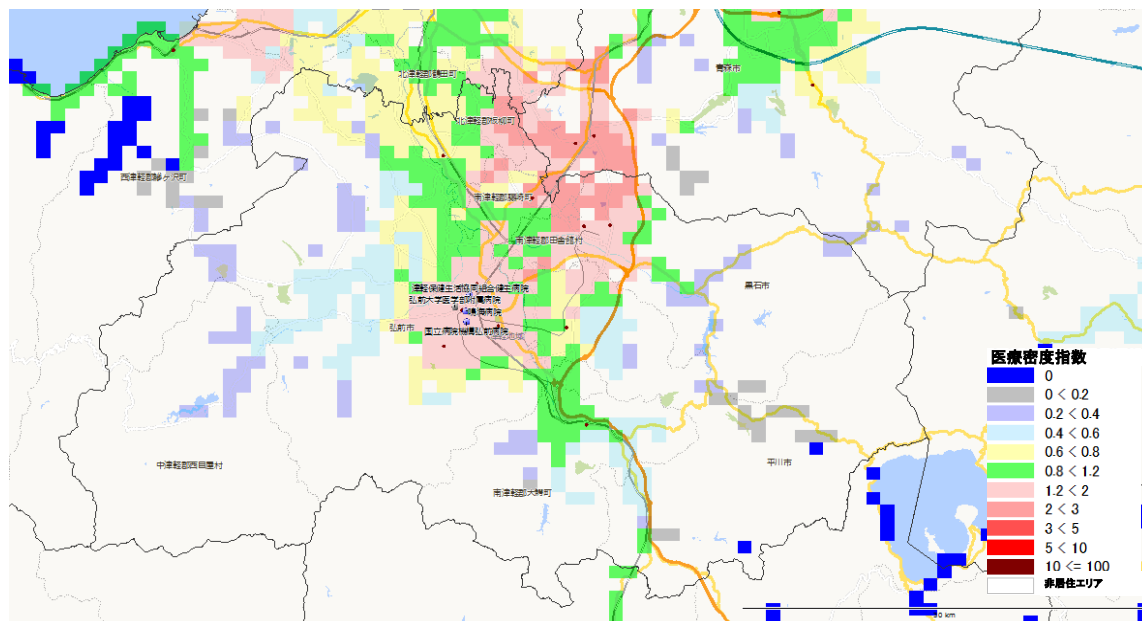
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が875床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2018年に650床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値45)と、225床の減少、率にして26%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



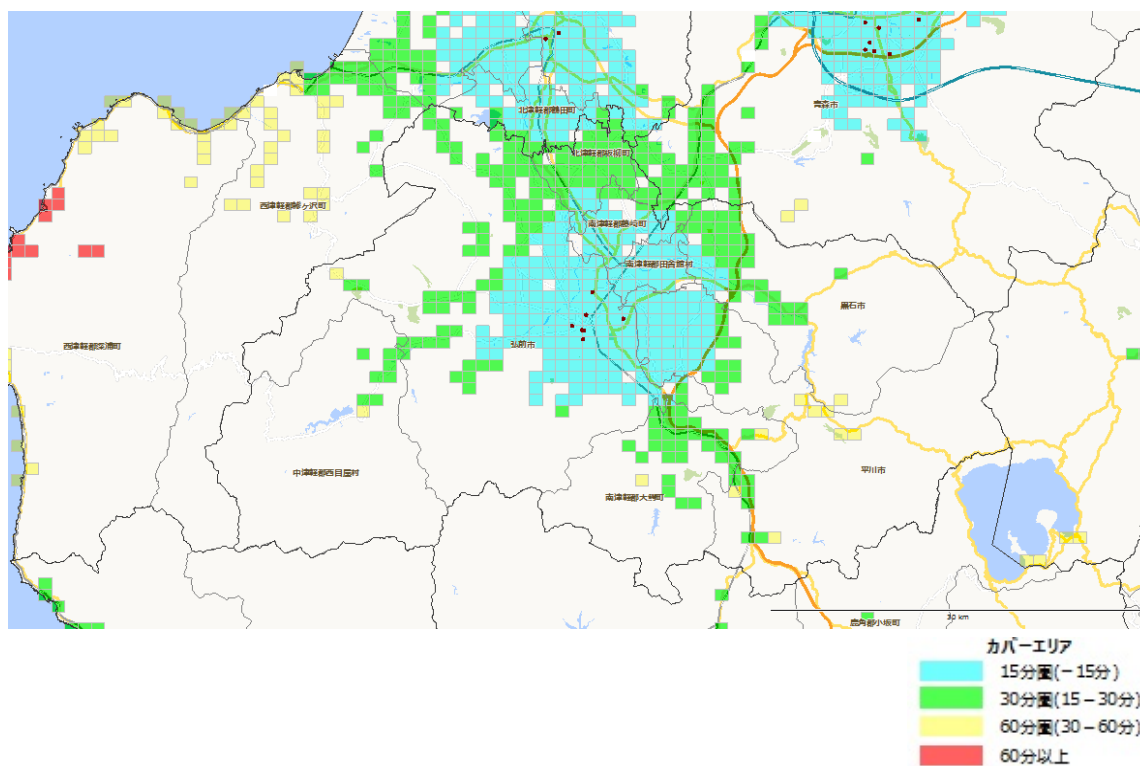
(津軽地域医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表2-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

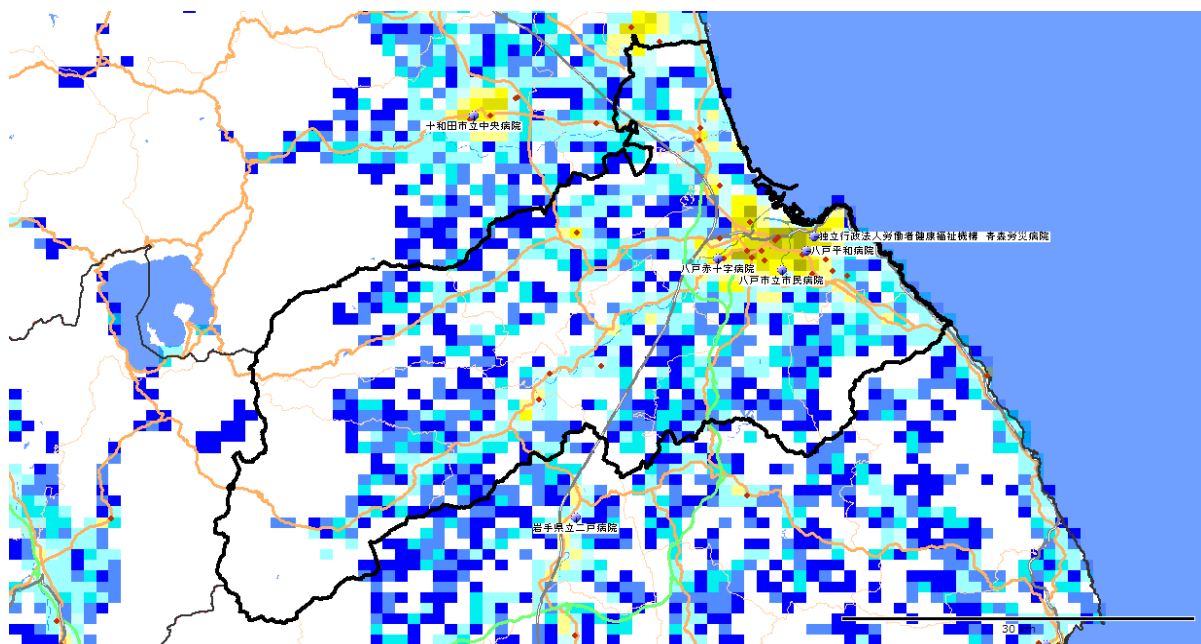


2-2. はちのへ 八戸地域医療圏

構成市区町村 [八戸市](#) [おいらせ町](#) [三戸町](#) [五戸町](#)
[田子町](#) [南部町](#) [階上町](#) [新郷村](#)

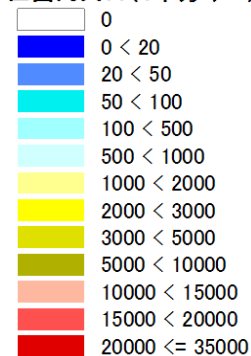
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

(八戸地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 八戸地域(八戸市)は、総人口約323千人(2015年)、面積1,347km²、人口密度は240人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 八戸地域の総人口は2025年に294千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に239千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の46千人が、2025年にかけて60千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には65千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 八戸地域の一人当たり医療費(国保)は357千円(偏差値50)、介護給付費は284千円(偏差値59)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 八戸地域の一人当たり急性期医療密度指数は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数は0.55で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。八戸地域には、年間全身麻酔件数が2000例以上の八戸市立市民病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の八戸赤十字病院(Ⅲ群)、500例以上の青森労災病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 八戸地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,997人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,475床(偏差値43)、高齢者住宅等が1,522床(偏差値43)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,568人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム38、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム61、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、872人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-38%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(八戸地域医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

八戸地域医療圏の総人口は、2005年348,205人が、2015年に323,447人と7%減少し、2025年の人口が293,695人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

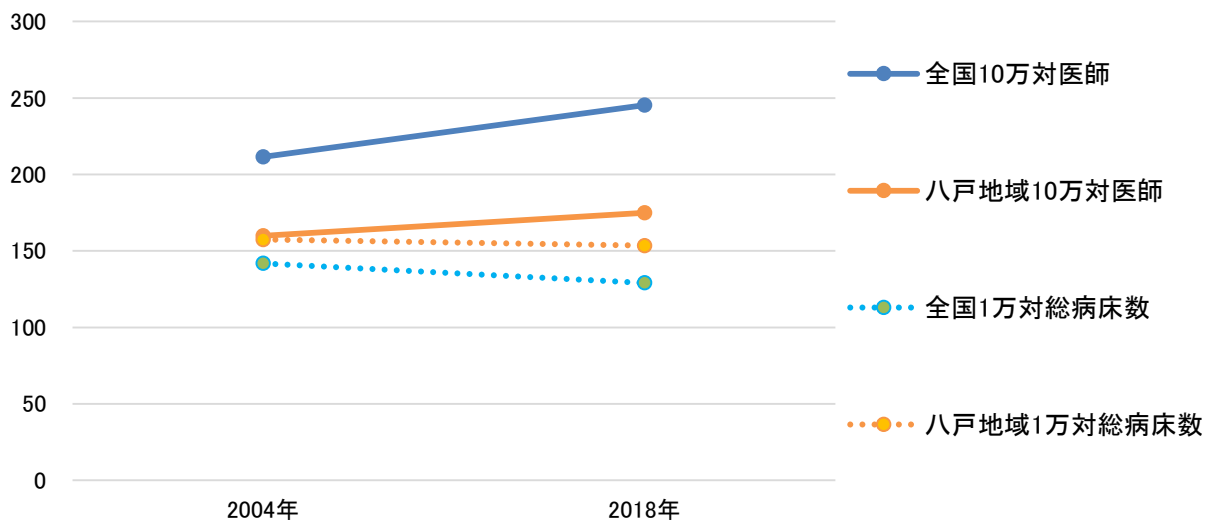
2004年の病院数が27(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2018年に27(人口10万人当たり8.3病院(全国平均6.6)偏差値54)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が211(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2018年に202(人口10万人当たり62診療所(全国平均80)偏差値41)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,483床(人口1万人当たり157(全国平均142)偏差値53)であったが、2018年に4,965床(人口1万人当たり154(全国平均129)偏差値55)と、518床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

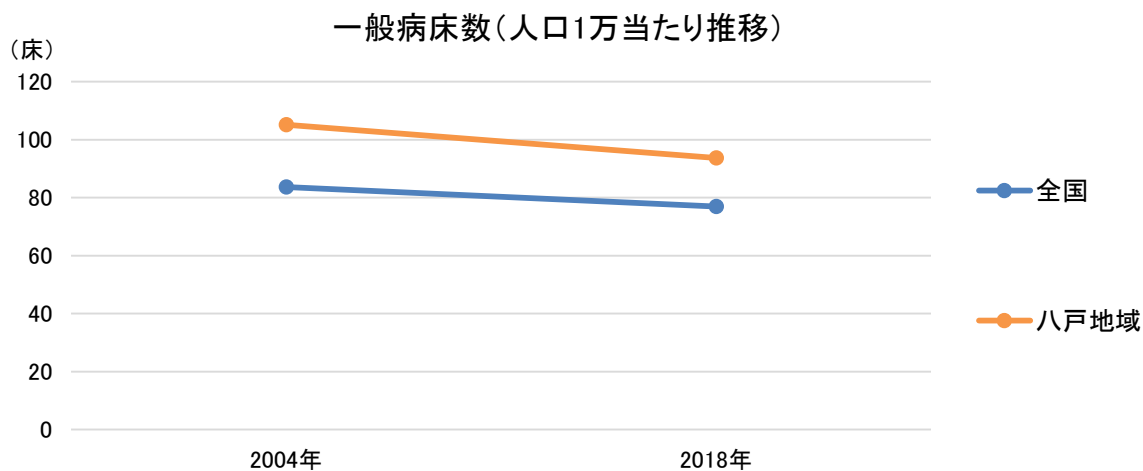
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が557人(人口10万人当たり160人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に566人(人口10万人当たり175人(全国平均245人)偏差値42)と、9人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



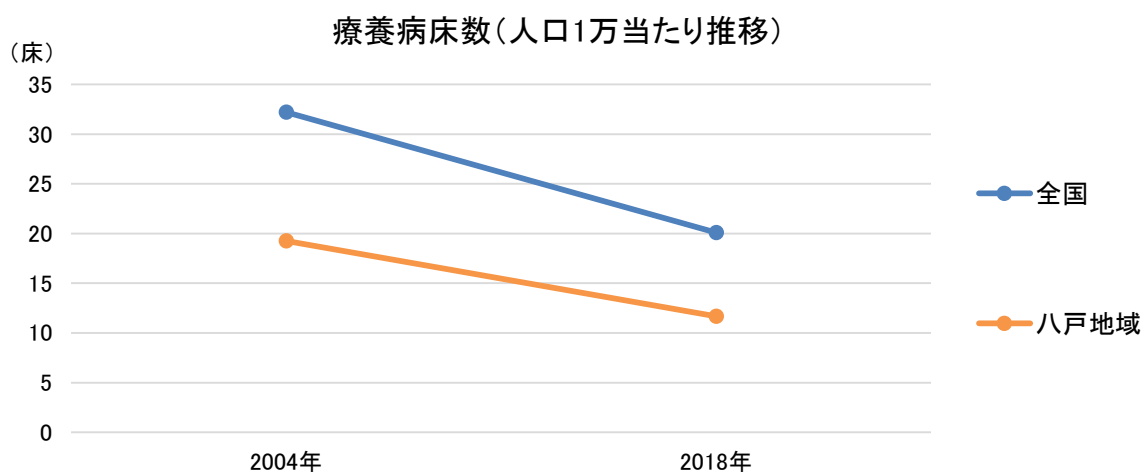
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,661床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値58)であったが、2018年に3,029床(人口1万人当たり94(全国平均77)偏差値56)と、632床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



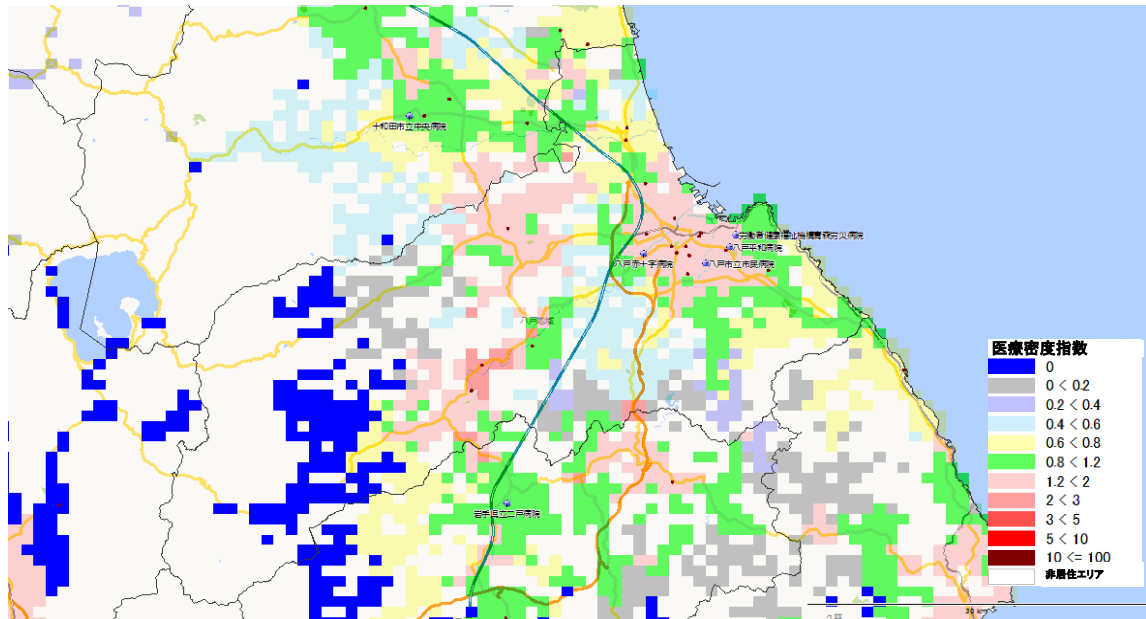
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が618床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に543床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値42)と、75床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



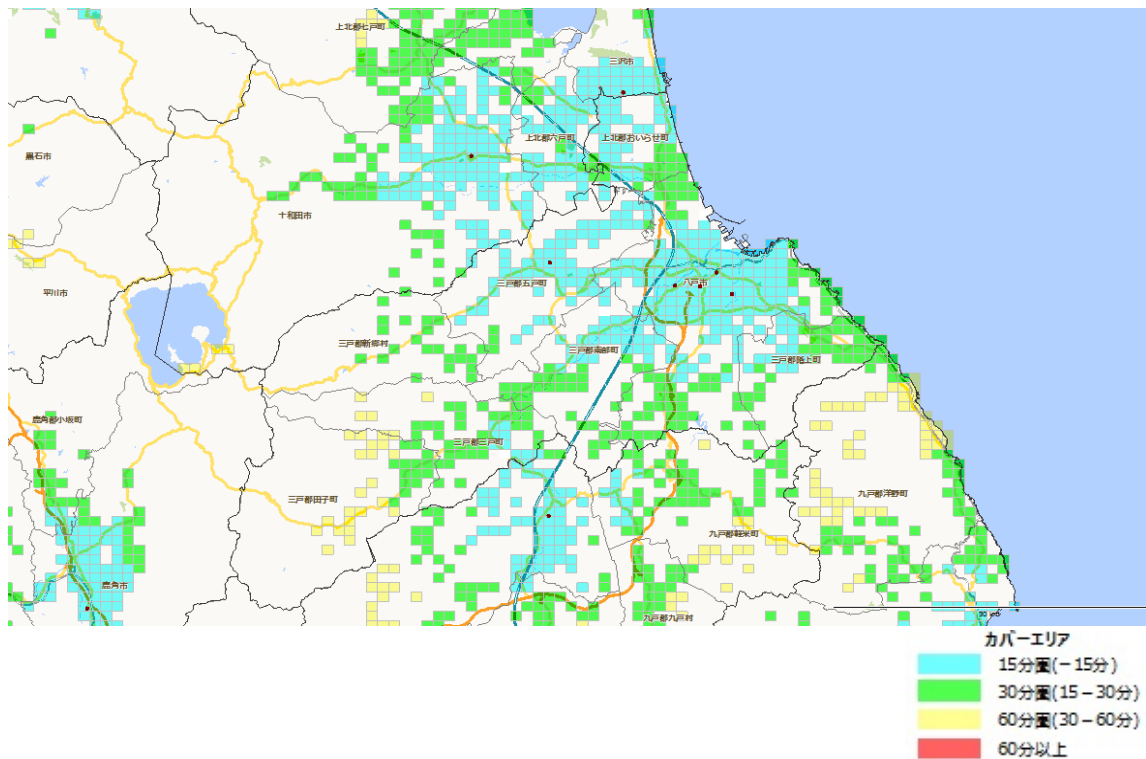
(八戸地域医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表2-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出産数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

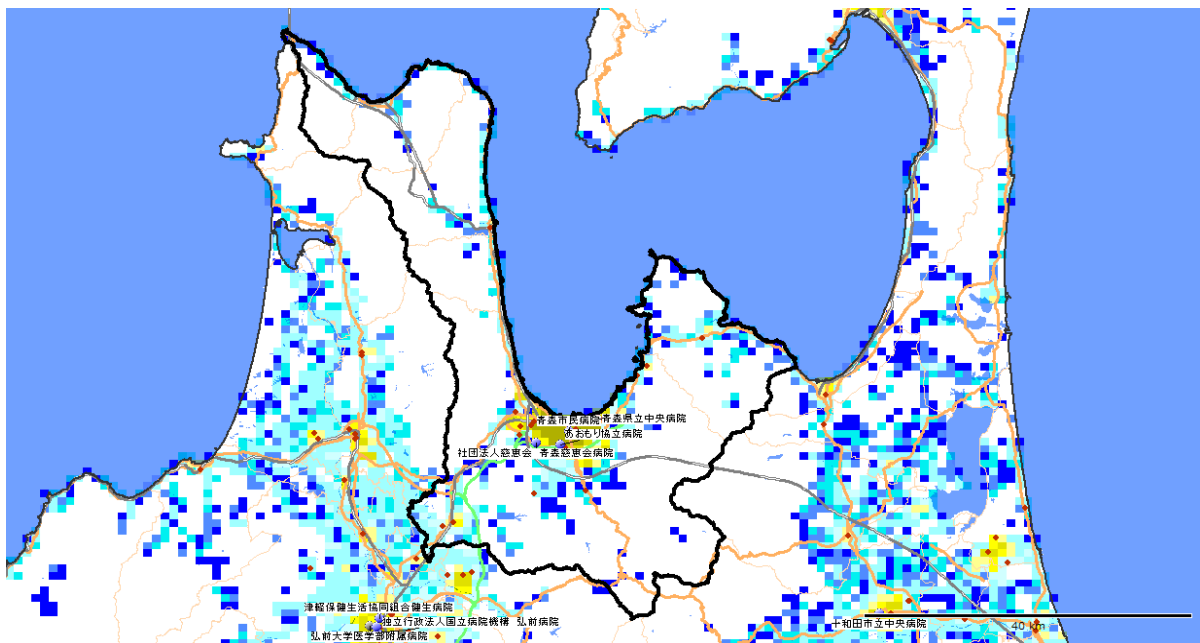


2-3. あおもり 青森地域医療圏

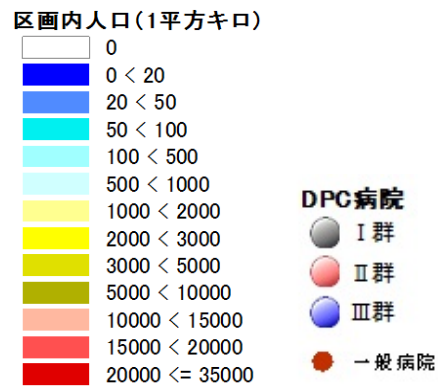
構成市区町村 [青森市](#) [平内町](#) [今別町](#) [蓬田村](#)
[外ヶ浜町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(青森地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 青森地域(青森市)は、総人口約311千人(2015年)、面積1,478km²、人口密度は210人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 青森地域の総人口は2025年に275千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に214千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の45千人が、2025年にかけて56千人へと増加し(2015年比+24%)、2040年には59千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 青森地域の一人当たり医療費(国保)は363千円(偏差値52)、介護給付費は290千円(偏差値60)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 青森地域の一人当たり急性期医療密度指数は1.22、一人当たり慢性期医療密度指数は1.04で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。青森地域には、年間全身麻酔件数が2000例以上の青森県立中央病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の青森市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 青森地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,959人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,305床(偏差値42)、高齢者住宅等が1,654床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,379人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホーム49、グループホーム71、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,258人(75歳以上1,000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-27%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(青森地域医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

青森地域医療圏の総人口は、2005年340,427人が、2015年に310,640人と9%減少し、2025年の人口が274,619人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

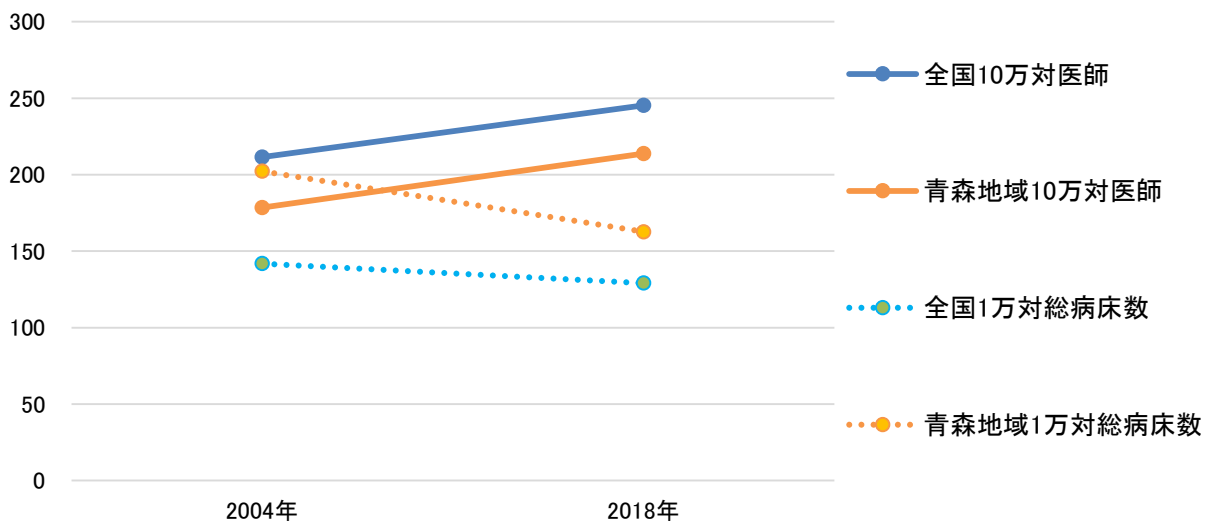
2004年の病院数が25(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2018年に22(人口10万人当たり7.1病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が275(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2018年に238(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、37診療所が減少した。

2004年の総病床数が6,884床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2018年に5,054床(人口1万人当たり163(全国平均129)偏差値56)と、1,830床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

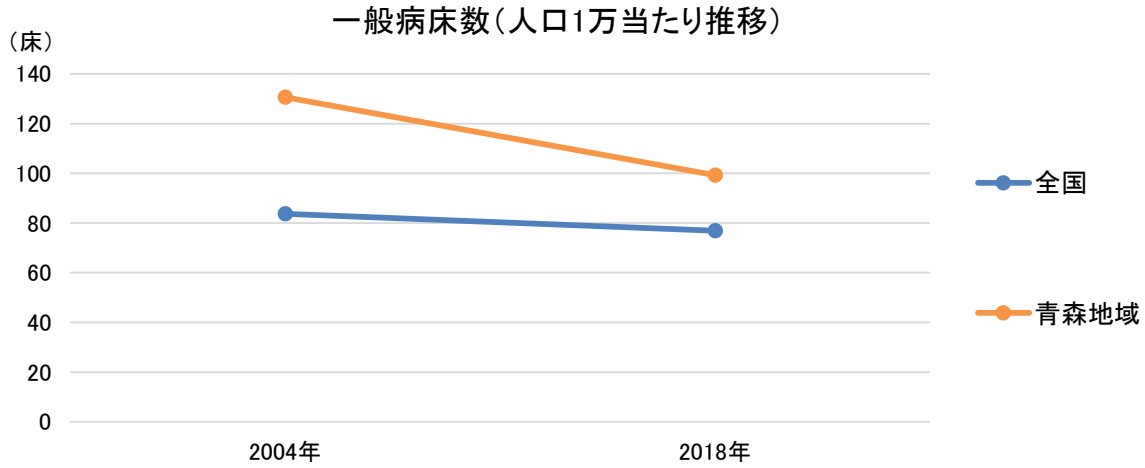
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が608人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に664人(人口10万人当たり214人(全国平均245人)偏差値47)と、56人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



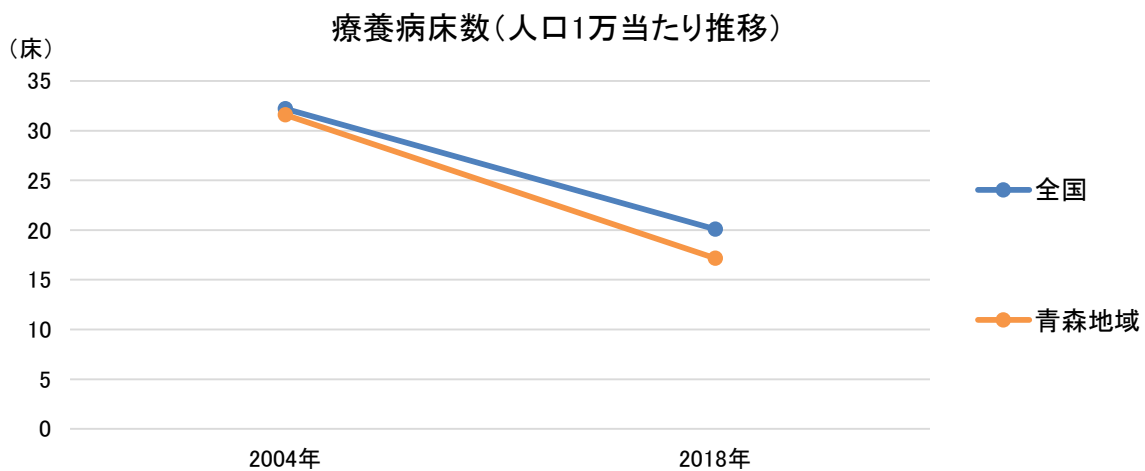
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,447床(人口1万人当たり131(全国平均84)偏差値67)であったが、2018年に3,085床(人口1万人当たり99(全国平均77)偏差値59)と、1,362床の減少、率にして31%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



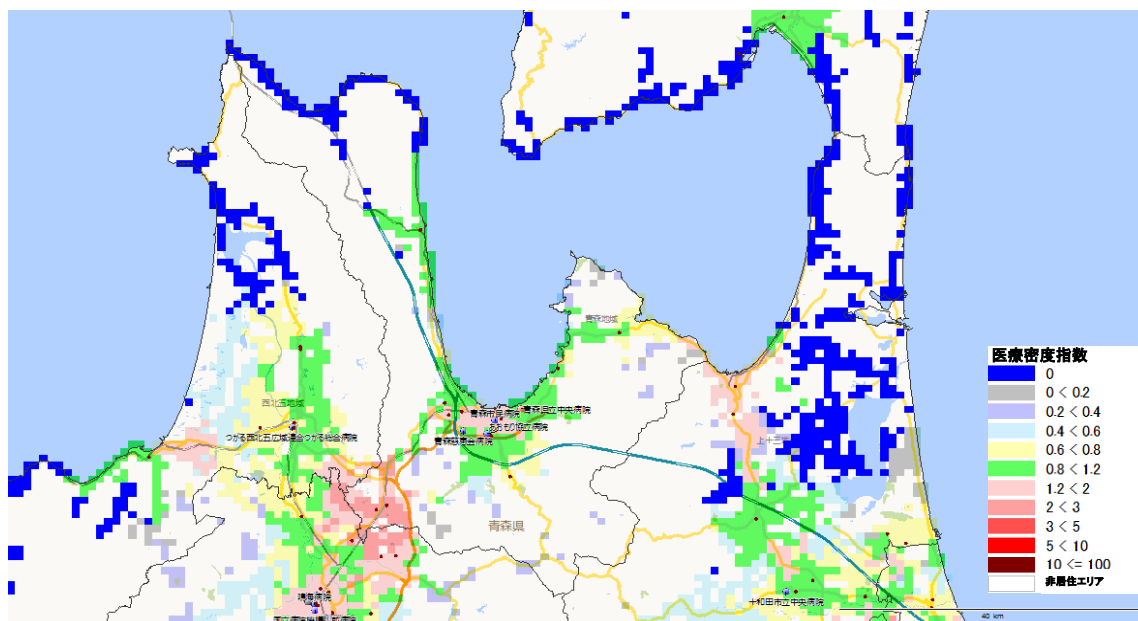
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,000床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2018年に767床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、233床の減少、率にして23%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



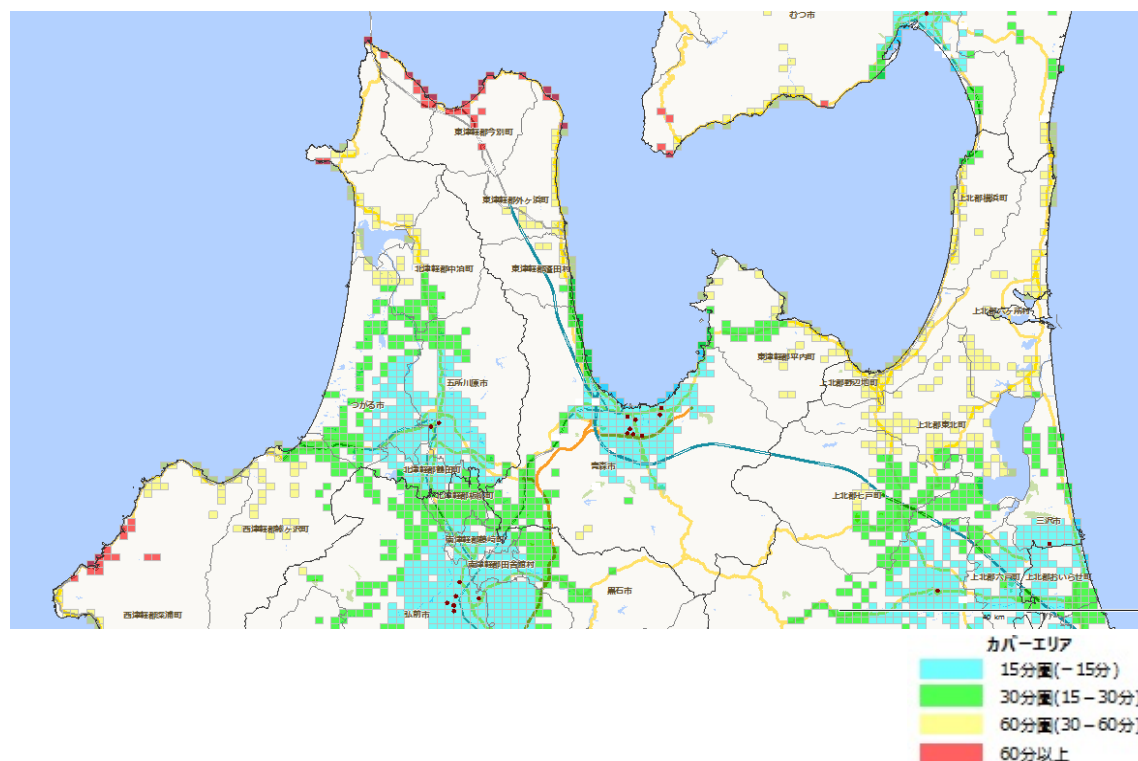
(青森地域医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表2-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

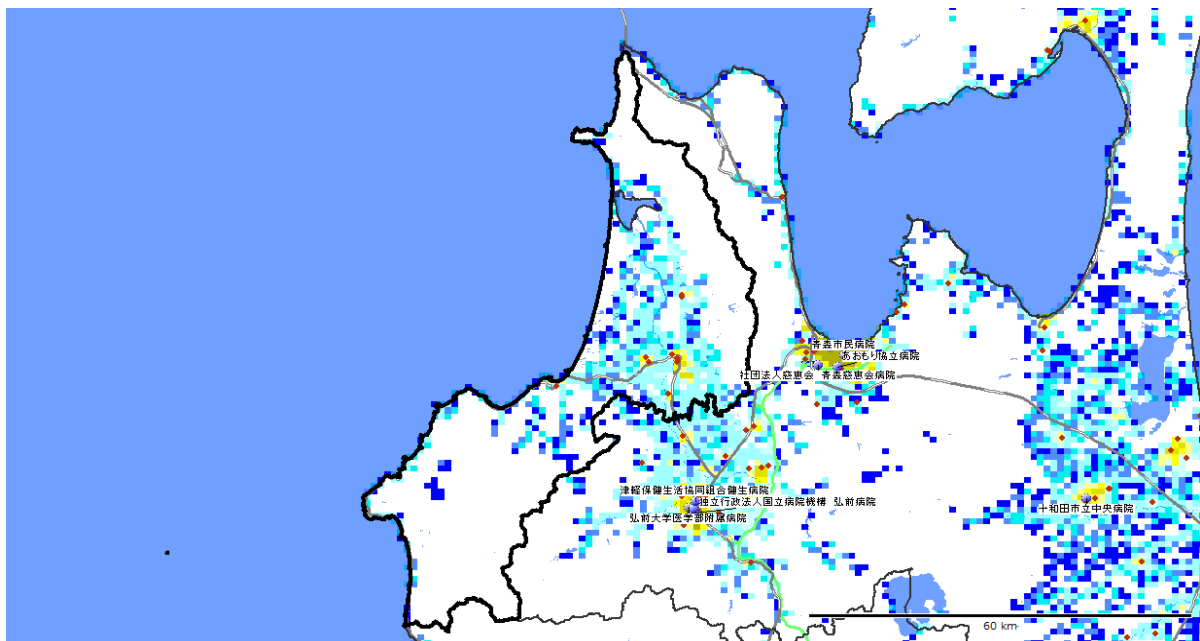


2-4. せいほくご 西北五地域医療圏

構成市区町村 [五所川原市](#) [つがる市](#) [鱒ヶ沢町](#) [深浦町](#)
[鶴田町](#) [中泊町](#)

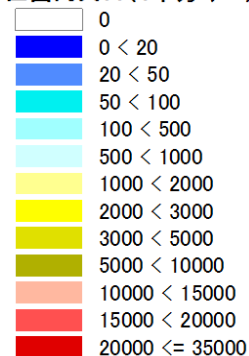
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(西北五地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 西北五地域(五所川原市)は、総人口約132千人(2015年)、面積1,752km²、人口密度は75人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 西北五地域の総人口は2025年に107千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に75千人へと減少する(2025年比-30%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年には25千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 西北五地域の一人当たり医療費(国保)は315千円(偏差値41)、介護給付費は299千円(偏差値63)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 西北五地域の一人当たり急性期医療密度指数は0.62、一人当たり慢性期医療密度指数は1.48で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が37(病院医師数38、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は33と非常に少ない。西北五地域には、年間全身麻酔件数が500例以上のつがる総合病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 西北五地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,766人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,730床(偏差値56)、高齢者住宅等が1,036床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,129人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設79、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホーム49、グループホーム89、サ高住37である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、402人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は+19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(西北五地域医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

西北五地域医療圏の総人口は、2005年155,246人が、2015年に131,631人と15%減少し、2025年の人口が107,474人と予測され、2005年→2025年の間に31%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

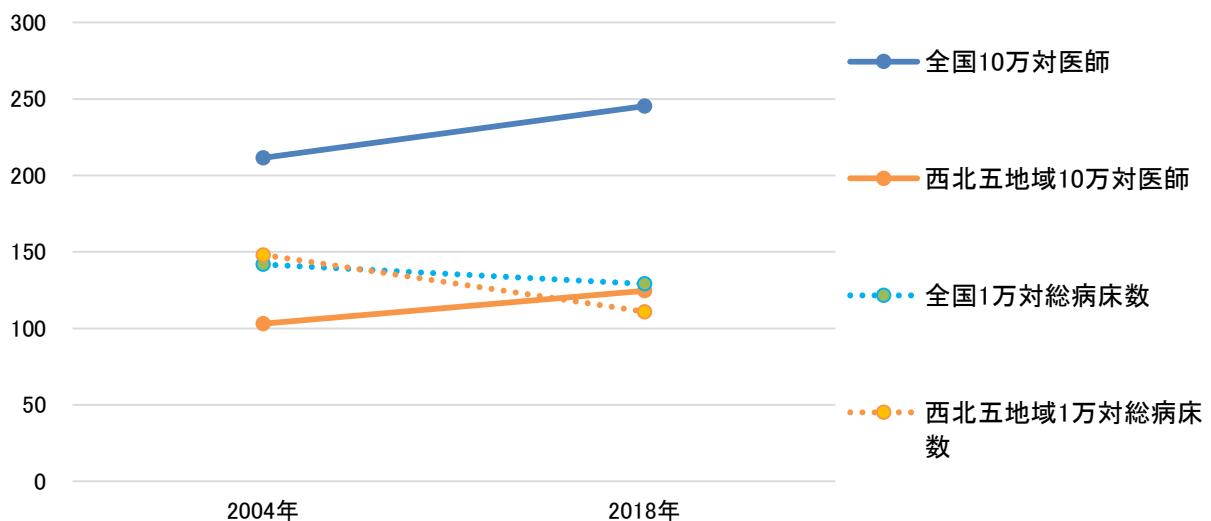
2004年の病院数が10(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2018年に8(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が81(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2018年に83(人口10万人当たり63診療所(全国平均80)偏差値41)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,299床(人口1万人当たり148(全国平均142)偏差値51)であったが、2018年に1,459床(人口1万人当たり111(全国平均129)偏差値47)と、840床の減少、率にして37%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が160人(人口10万人当たり103人(全国平均212人)偏差値37)であったが、2018年に164人(人口10万人当たり125人(全国平均245人)偏差値37)と、4人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

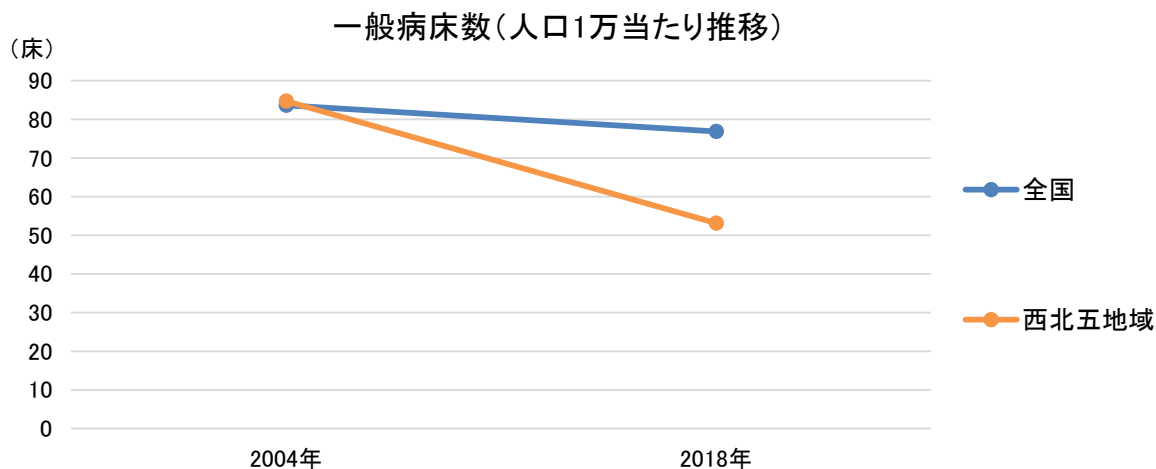
人口当たり医師数・総病床数の推移



2.青森県(2019年版)

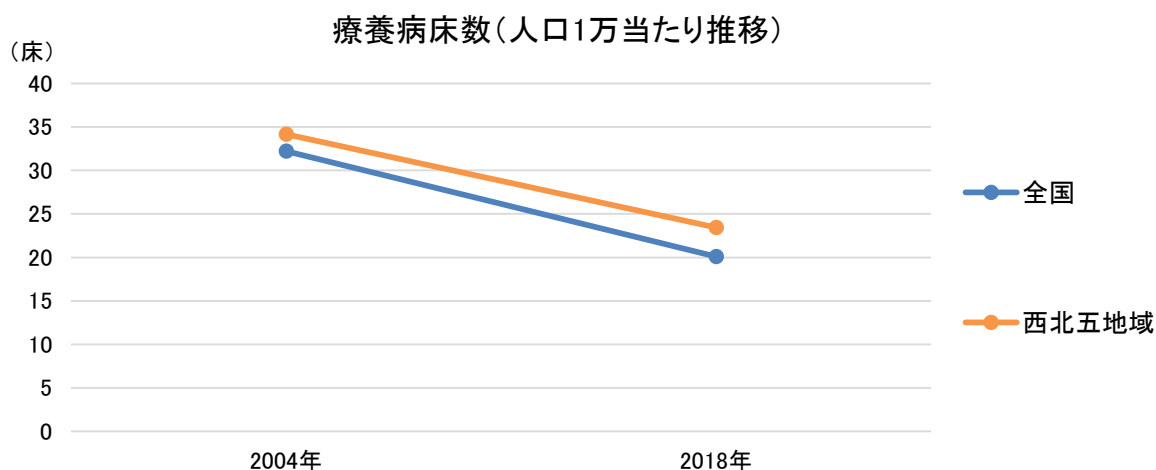
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,315床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値50)であったが、2018年に700床(人口1万人当たり53(全国平均77)偏差値41)と、615床の減少、率にして47%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



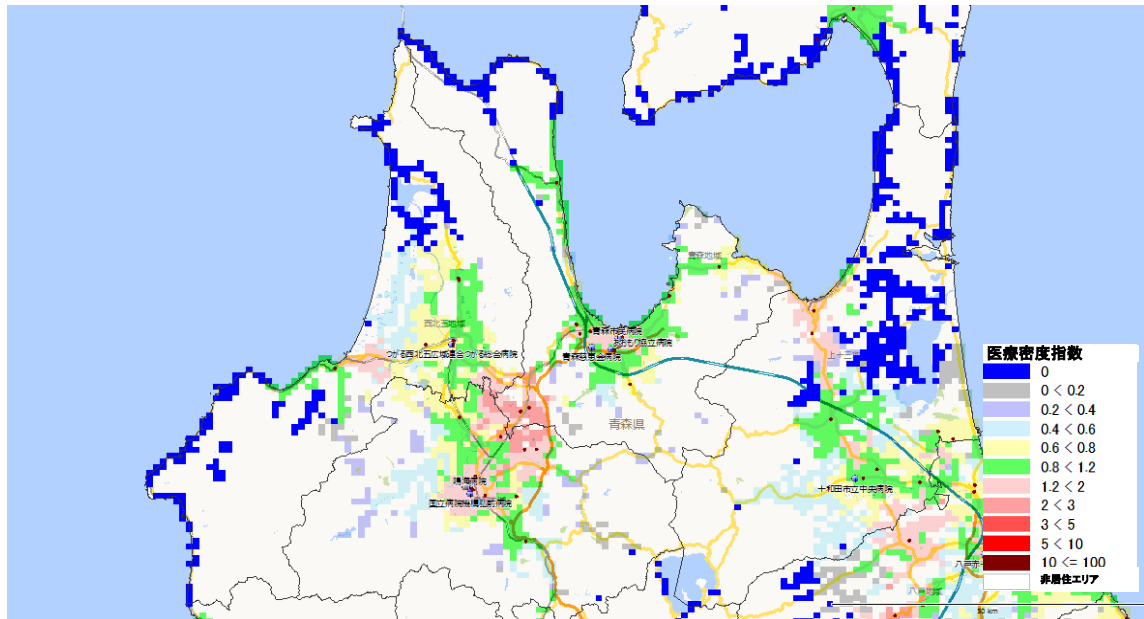
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が668床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2018年に591床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均20)偏差値53)と、77床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



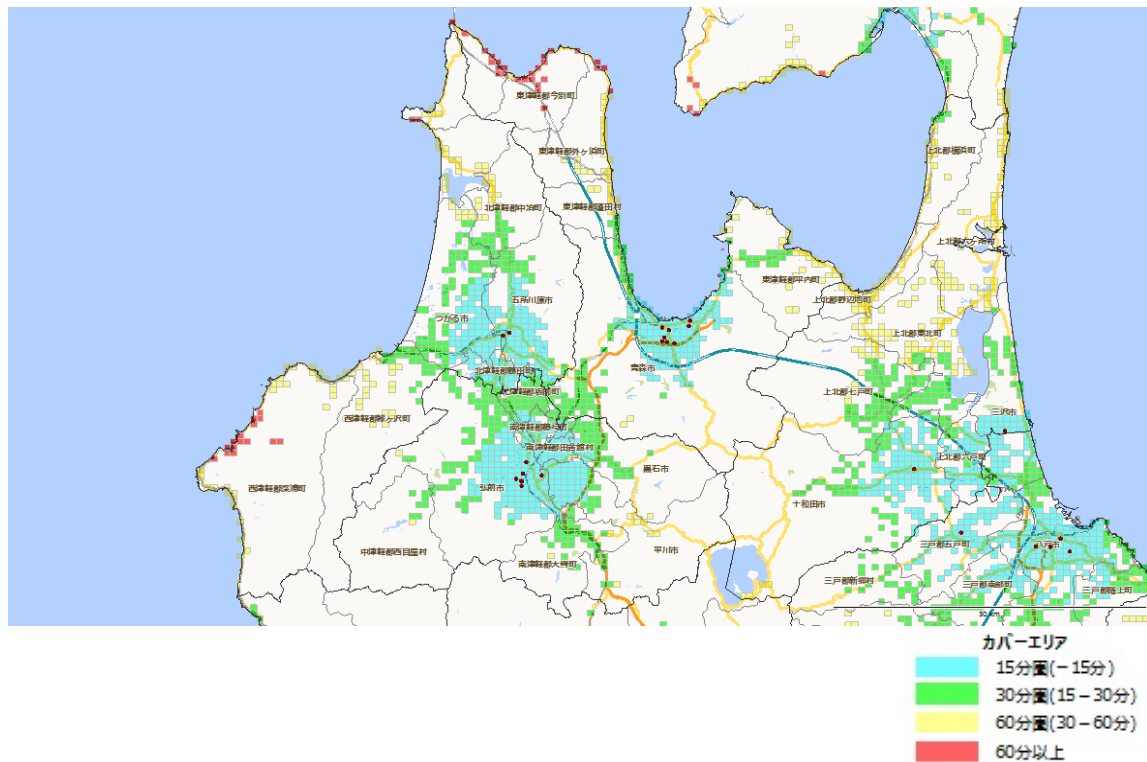
(西北五地域医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表2-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

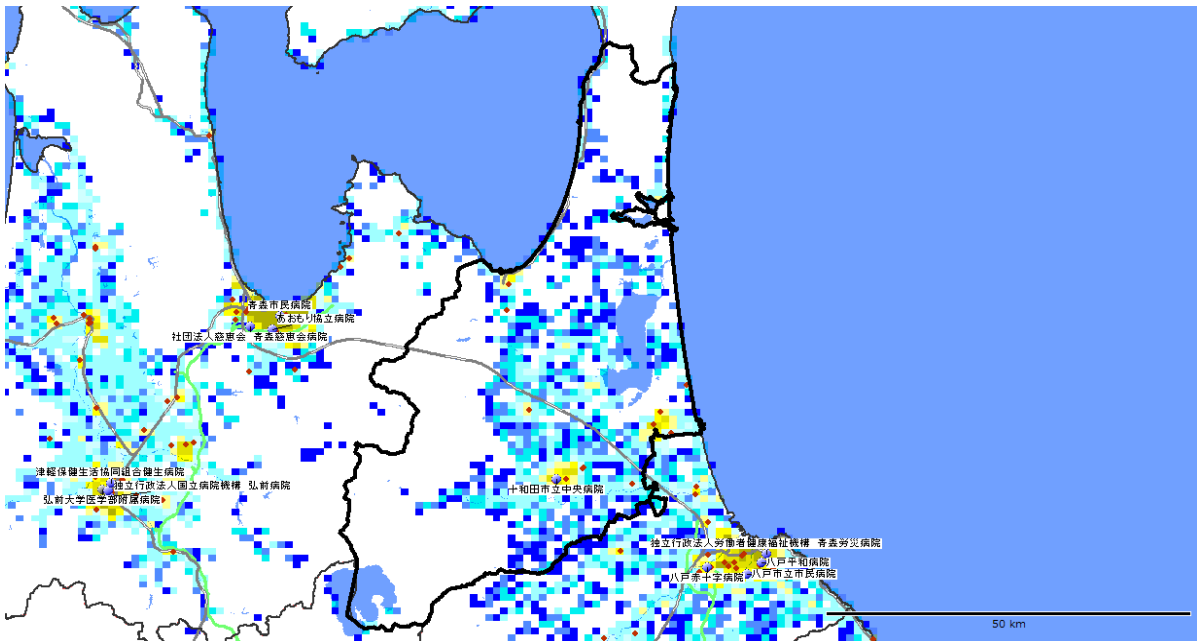


2-5. かみとうさん 上十三地域医療圏

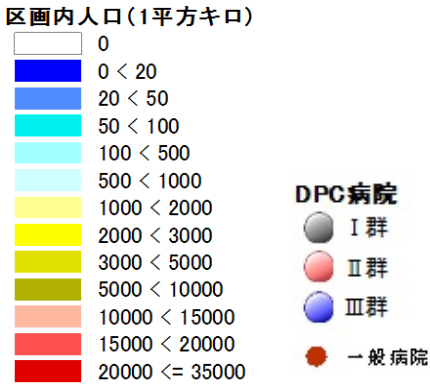
構成市区町村 [十和田市](#) [三沢市](#) [野辺地町](#) [七戸町](#)
[六戸町](#) [横浜町](#) [東北町](#) [六ヶ所村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(上十三地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 上十三地域(十和田市)は、総人口約176千人(2015年)、面積2,054km²、人口密度は86人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 上十三地域の総人口は2025年に158千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に126千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて33千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には35千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 上十三地域の一人当たり医療費(国保)は344千円(偏差値47)、介護給付費は316千円(偏差値68)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 上十三地域の一人当たり急性期医療密度指数は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は0.42で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が36(病院医師数37、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。上十三地域には、年間全身麻酔件数が500例以上の十和田市立中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値38と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 上十三地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,941人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,720床(偏差値52)、高齢者住宅等が1,221床(偏差値51)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,166人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム67、サ高住58である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、526人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(上十三地域医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

上十三地域医療圏の総人口は、2005年191,417人が、2015年に176,307人と8%減少し、2025年の人口が157,599人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

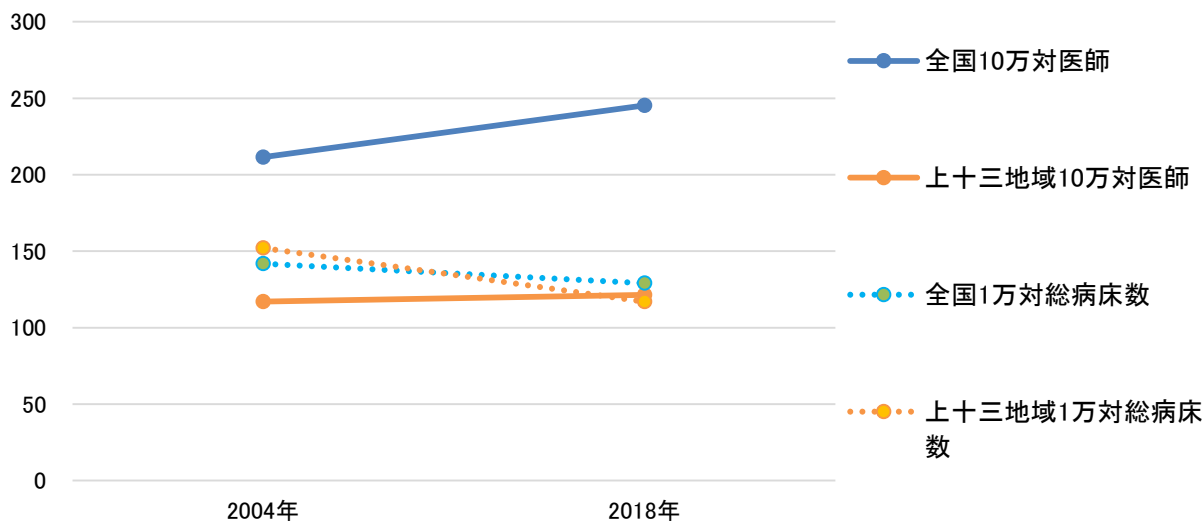
2004年の病院数が13(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2018年に12(人口10万人当たり6.8病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が103(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2018年に95(人口10万人当たり54診療所(全国平均80)偏差値36)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,911床(人口1万人当たり152(全国平均142)偏差値52)であったが、2018年に2,064床(人口1万人当たり117(全国平均129)偏差値48)と、847床の減少、率にして29%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

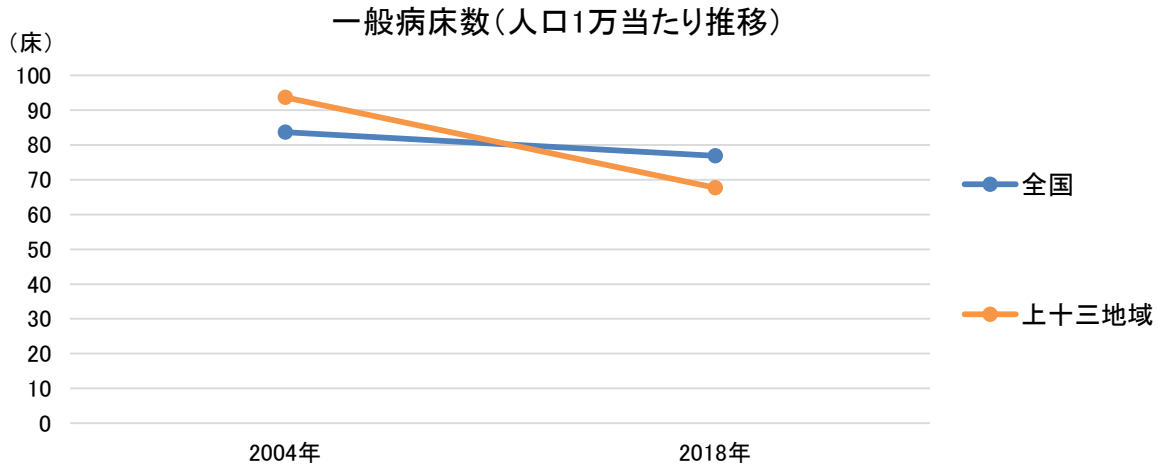
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が224人(人口10万人当たり117人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2018年に214人(人口10万人当たり121人(全国平均245人)偏差値36)と、10人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



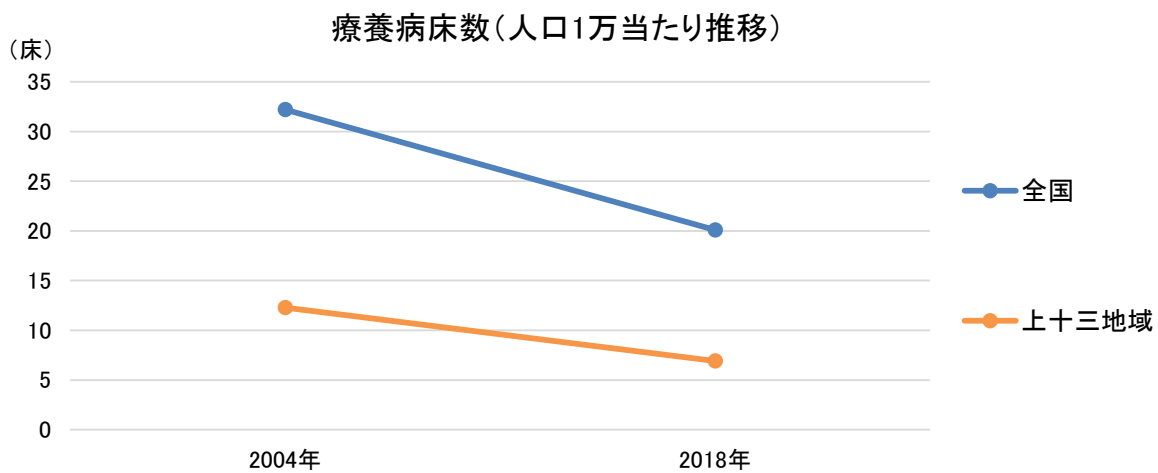
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,793床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2018年に1,194床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値46)と、599床の減少、率にして33%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



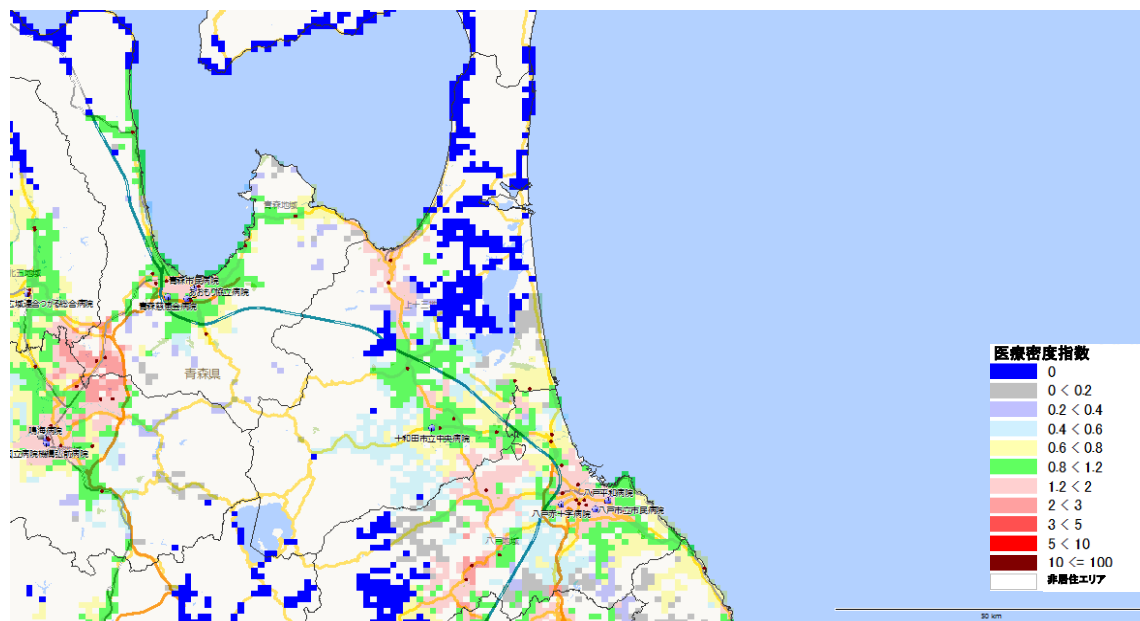
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が236床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2018年に187床(75歳以上1,000人当たり7(全国平均20)偏差値38)と、49床の減少、率にして21%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



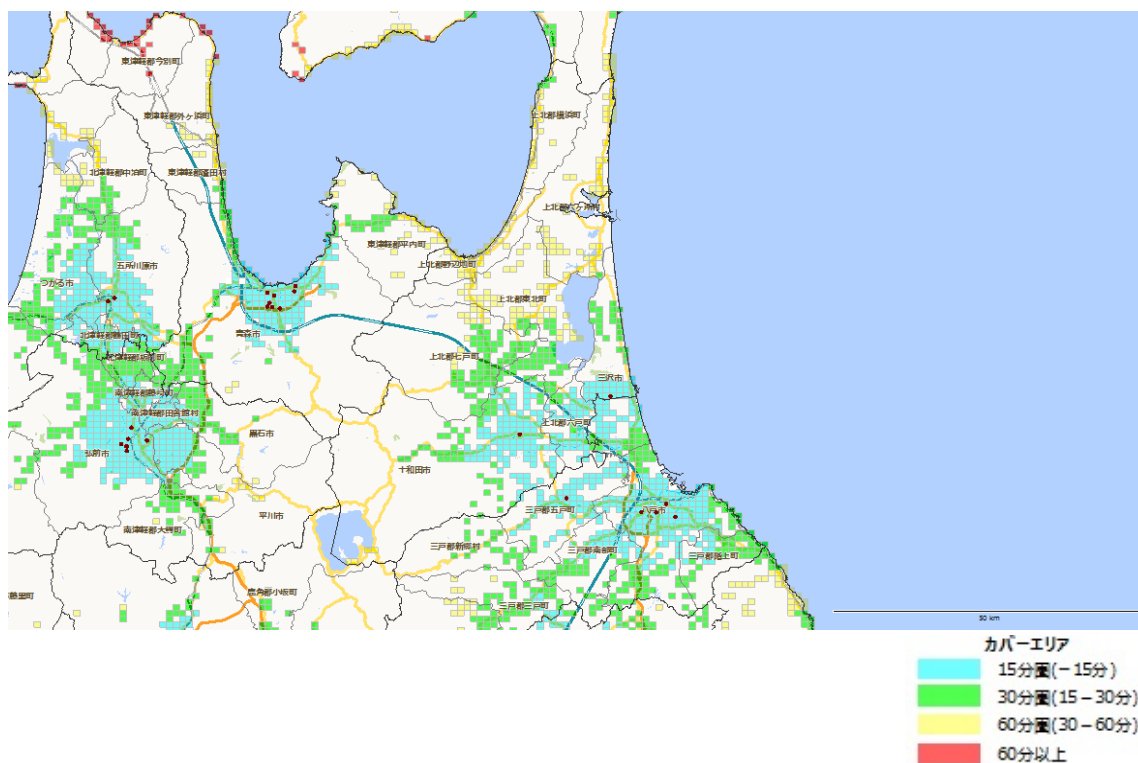
(上十三地域医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表2-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

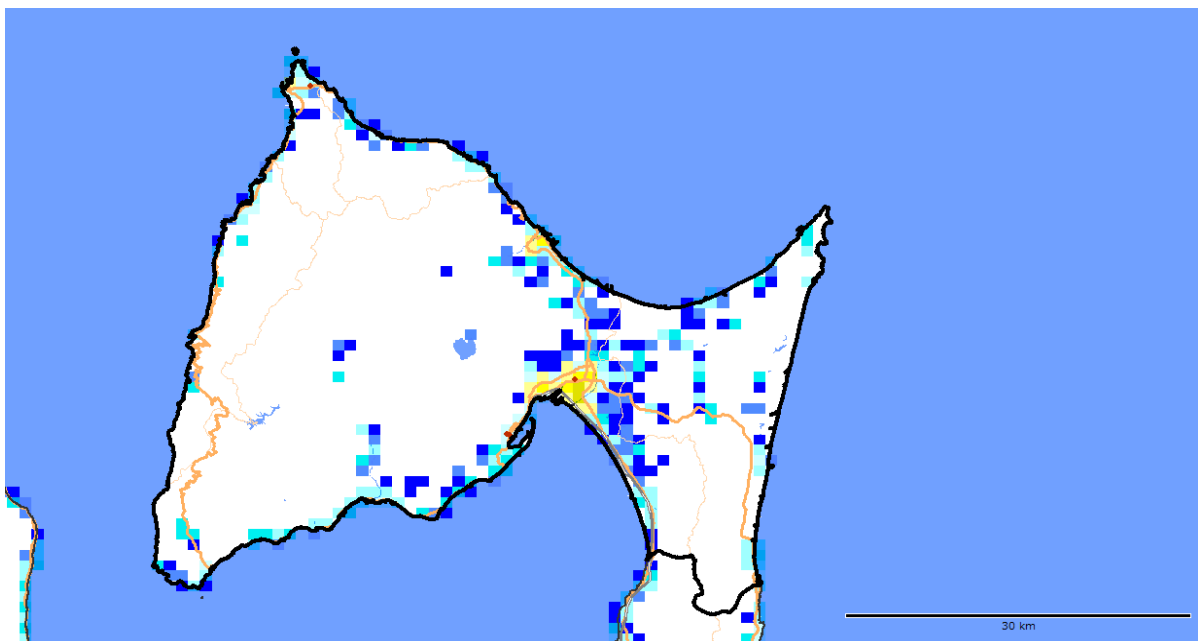


2-6. しもきた 下北地域医療圏

構成市区町村

[むつ市](#)
[佐井村](#)
[大間町](#)
[東通村](#)
[風間浦村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(下北地域医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 下北地域(むつ市)は、総人口約74千人(2015年)、面積1,416km²、人口密度は53人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 下北地域の総人口は2025年に65千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に51千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には14千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 下北地域の一人当たり医療費(国保)は336千円(偏差値46)、介護給付費は294千円(偏差値61)であり、医療費はやや低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 下北地域の一人当たり急性期医療密度指数は0.56、一人当たり慢性期医療密度指数は0.91で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38(病院医師数40、診療所医師数33)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。下北地域には、年間全身麻酔件数が500例以上のむつ総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 下北地域の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,060人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が779床(偏差値55)、高齢者住宅等が281床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、820人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設51、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、150人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(下北地域医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

下北地域医療圏の総人口は、2005年83,752人が、2015年に74,451人と11%減少し、2025年の人口が65,479人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

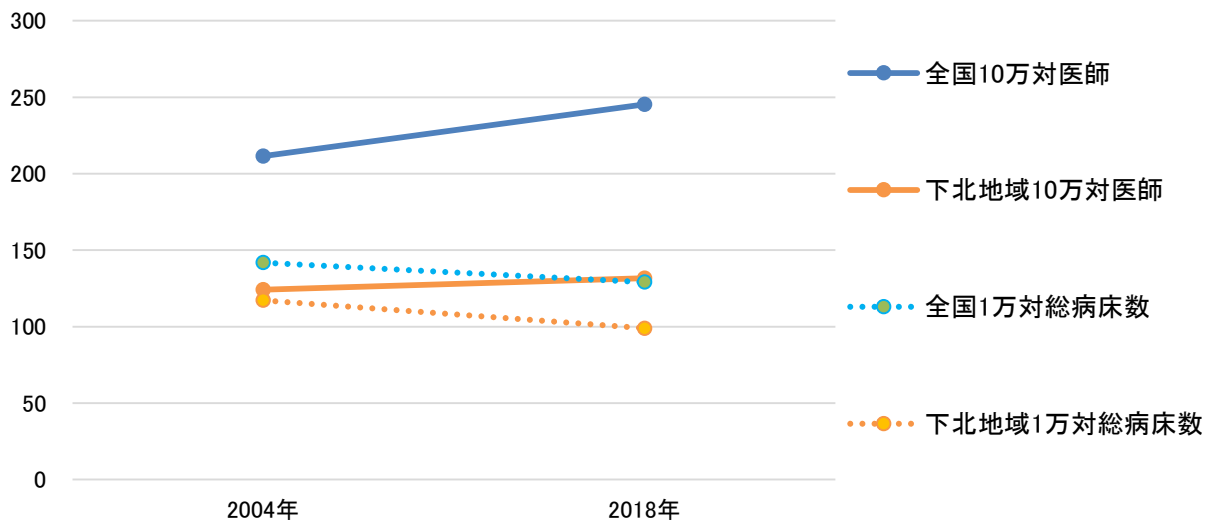
2004年の病院数が6(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2018年に4(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が46(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2018年に44(人口10万人当たり59診療所(全国平均80)偏差値39)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が982床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2018年に737床(人口1万人当たり99(全国平均129)偏差値44)と、245床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が104人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2018年に98人(人口10万人当たり132人(全国平均245人)偏差値38)と、6人の減少、率にして6%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

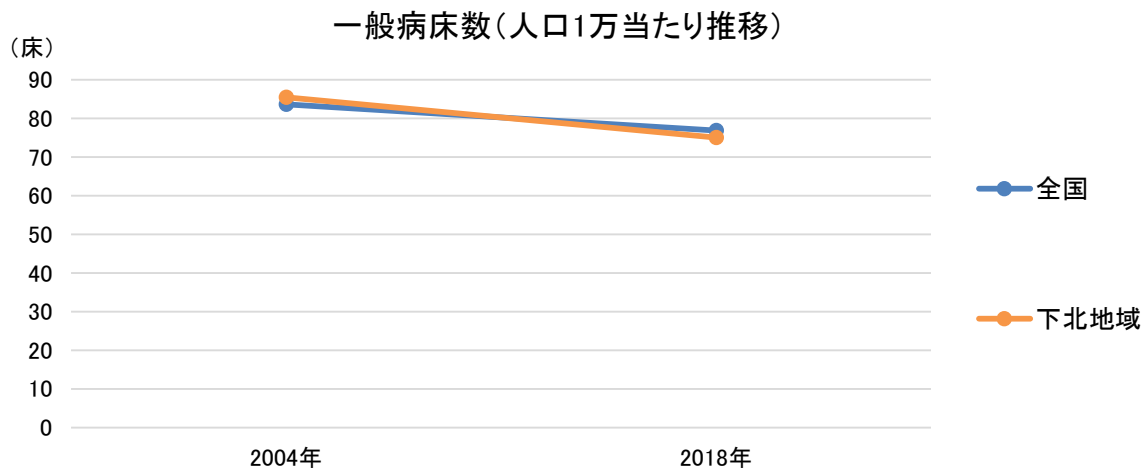
人口当たり医師数・総病床数の推移



2.青森県(2019年版)

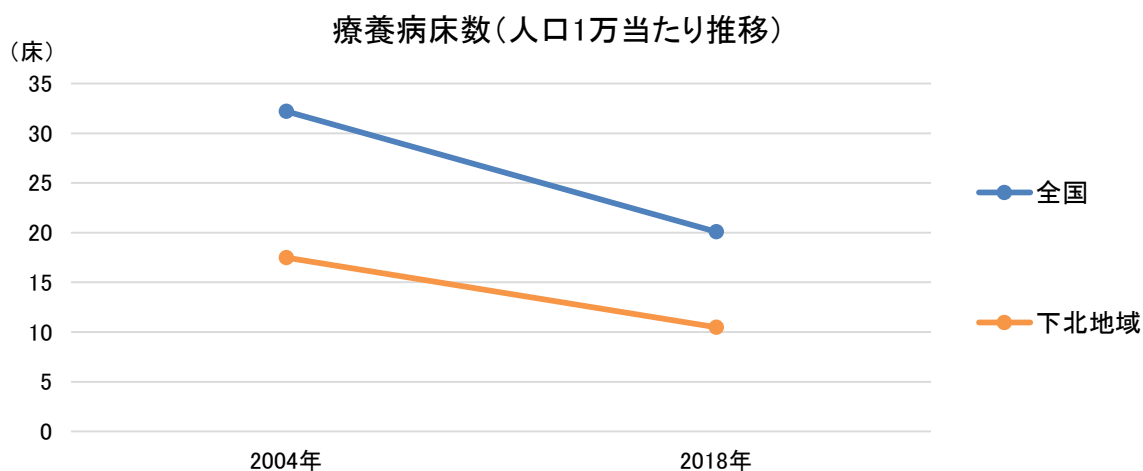
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が716床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値51)であったが、2018年に559床(人口1万人当たり75(全国平均77)偏差値49)と、157床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



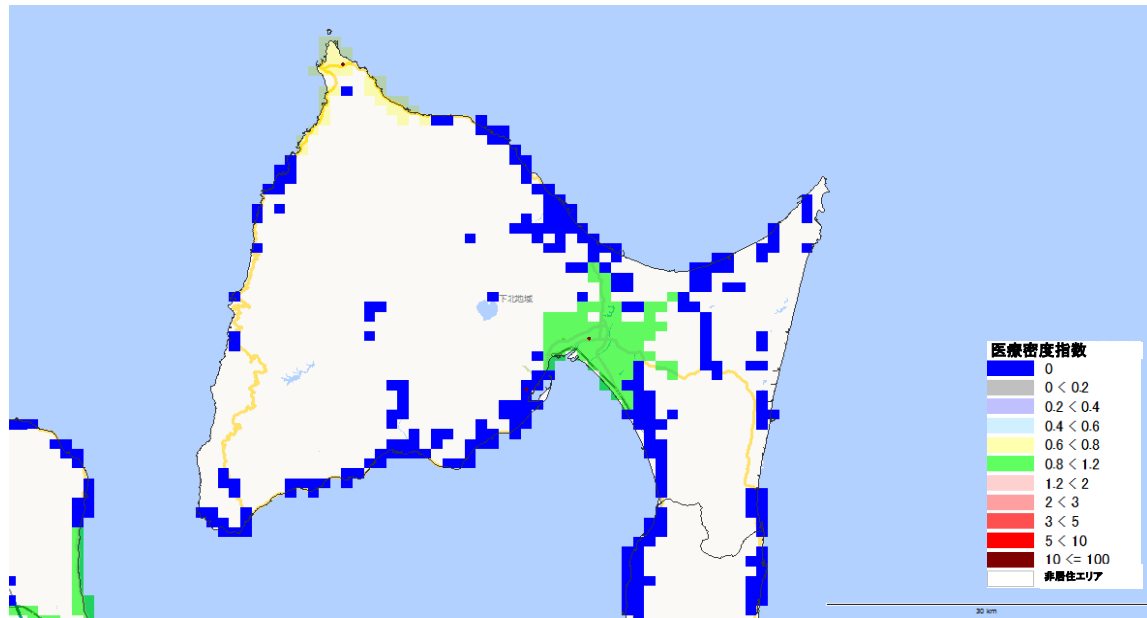
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が156床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均32)偏差値42)であったが、2018年に120床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、36床の減少、率にして23%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



(下北地域医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表2-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表2-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

